

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

皆さん、おはようございます。出席委員も定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議は、審査日程第2号によって進めます。

ただ今から、令和4年度予算議案7案件を一括議題とし、総括質疑を行います。なお、この際申し上げます。今回の総括質疑については、先に議会運営委員長からご報告がありましたとおり、質疑、答弁を含めて1人30分ずつの時間制とし、各会派等の人員に応じ、それぞれ時間配分をいたしましたので、よろしくご協力願います。

また、質疑の順序については、皆様方のお手元に配付いたしております「予算特別委員会総括質疑時間配分予定表」のとおりであります。時間の差異の調整については、委員長にご一任願いたいと思います。なお、各会派等の持ち時間終了の3分前に、委員長より予鈴をもってお知らせいたしますのでご協力をお願いします。

重ねて申し上げます。総括質疑に対する当局側の答弁は、質疑者の時間制限もありますので、簡潔明瞭にお願いいたします。

それでは、直ちに総括質疑を行います。まず、令和クラブの質疑を許します。安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

皆さんおはようございます。それでは、令和クラブの総括質疑を行います。まず初めに、説明資料10ページNo.2のふるさと尾花沢応援基金事業について伺いたします。昨年度当初6億円ということで金額のほうがありますが、拡充として、その8億円を見込んであるということになっておりますが、これについては何が増えているのかお答えいただきたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

何が増えているかという質問に対してでしたけれども、最も増えておりますのが、前年度と比較しまして4.3倍の伸びとなっておりますのが銀山温泉宿泊補助券であります。次に伸びておりますのが牛肉関係でございます。これにつきましては、前年度と比べまして2.8倍の伸びとなっております。また次に伸びておりますのが米であります。これは前年度と比較して2.3倍の伸びとなっております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

昨年から非常に伸びているということで、今回の予算になっているという内容で、銀山温泉の宿泊補助券、あと牛肉、あと米ということで、尾花沢らしいところが非常にPRがうまくできているのかなというふうに思うところです。それ以上に拡大できるようなことはなかったのか、お伺いたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

今後、さらなる寄附額増を狙っておりまして、令和4年度から新たにポータルサイト運営等業務委託を締結する予定でございます。これにつきましては、市場分析による新たなヒット商品の開発ですとか、各ポータルサイトの一元管理などを行うと共に、検索結果でより多く露出する対策として、SEO対策なども実施していく予定でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

ポータルサイトということで、尾花沢の特産品を検索した時に、初めのほうに表示になるということで、他の人の目につきやすいということでの対応ということで、中身については、まだまだ尾花沢として応援できる事業が品物、製品等あるかと思っておりますので、ぜひその辺の内容についても頑張って、トータルを見て、今までのところ以外でもこんなのがあったのかというようなところが見つけられるようなサイトの運営をぜひよろしくお願いしたいと思います。

では次に、18ページのNo.46、ふるさと暮らし応援事業の中で、克雪住宅建設等助成事業及び消融雪装置設置助成事業は、何件ぐらいの申し込みを見込んでいるのかお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

お答えいたします。令和4年度の当初予算でありますけれども、克雪住宅建設等助成事業については12件、消融雪装置設置助成事業については51件を予算を計上してございます。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

継続ということで、昨年と同等くらいということであるかと思いますが、年度末に事業費がないというようなことにならないような数字で組んでいただいたの

かなというところであります。克雪住宅建設については12件ということですが、この中で、荒楯の新しく建ったところでは、全部今まで該当していたかどうか、お分かりになればお答えいただきたいんですが。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

質問ですが、荒楯住宅について、消融雪装置を設置したかどうかということだったのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

新しく住宅建設されたところで、その消融雪と克雪住宅ということで、該当しているところが何件くらいあったかということでお願いしたいんです。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

荒楯住宅に関して、消融雪装置が設置されたかどうかというのを、手持ちの資料としてございませんので、後ほど回答させていただきたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

克雪住宅、その雪に困らないような建て方と、あとそれ以外でその建物以外のところで、雪を消すという2つの事業でひとつの成果が出るのかなというふうに思っているところですので、該当しているかどうかということで、質問させていただきました。今後流雪溝があるところであれば、全然自宅前、敷地内の雪の処分については困らないんですが、流雪溝のないところ、あと雪置き場の確保の難しいところ、できにくいところということもあるかと思うので、その辺のところを考慮しながら、ぜひ件数の調査、助成のほうよろしくをお願いしたいと思います。

次に、22ページ72番、校務用パソコン等整備事業、新規になりますが、台数は何台になるのかお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

今回の校務用パソコン等の整備事業に係るパソコンの台数についてでありますけれども、現在学校で使用している校務用のパソコンの更新になるものでありますけれども、パソコンの台数については130台程を見

込んでおります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

新規の事業ということではあります、もうすでに校務用のパソコンということで導入されているものの更新ということで、台数は30台ということで、この30台で全職員が対応できるのかお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

すみません、パソコンの台数でありますけれども、130台を更新する予定です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

100のところ聞き逃しまして30台というふうに聞いてしまいましたので、失礼しました。ということは、全教員のほうの対応が間に合うということで、その導入の目的として、業務負担軽減ということでありまして、どれぐらいの業務負担軽減があるかと考えておられるかお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

それでは、校務の軽減の面からお答え申し上げます。このパソコンを使って、統合型の校務支援システムを導入することによって、校務の負担軽減を図ることになります。具体的には、これまで手書きや手作業で行っていた業務をシステムを活用して行うことができるようになります。学校や学級経営に必要な情報や、児童生徒についての情報を一元管理して共有することが可能になります。結果として、先生方が児童生徒と向き合うことができる時間を確保し、教育の質的向上につながることを期待されております。負担軽減等についての効果について具体的に3点申し上げます。

1点目は、ペーパーレス化によるセキュリティの向上。

2点目は、出席簿や健康観察等それぞれで打ち込んでいた名簿についての情報、これを何度も入力する必要がなくなる。それから進学時、小学校から中学校への入学時等について、データの引き継ぎの効率化などの効果が見込まれるものと考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

業務負担軽減3項目ということで、非常に今まで手書きだったところをペーパーレスにして、なおかつセキュリティもしっかりするということでありますので、先生方の今までのご負担がかなり軽減されるのではないかというふうに思われる内容になるかと思います。その業務負担軽減になった部分を、ぜひ子どもたちの学びの力となるように、全力でできるような時間を使っていたいてということで、ぜひよろしくお願いしたいと思います。出席のデータの引き継ぎというのは今まではどのようにされていたのかお伺いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

先ほども申し上げましたが、手書き手作業が基本になっておりましたので、紙面上での受け渡しになっておりました。ですので、ここについての負担軽減はかなり大きなものになるものと見込んでおります。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

今までもシステムが入っていた中で、ペーパーレスになっていたのかなというところがあったんですけども、今回新しく入れられるシステムの中で、より一層データが共有できるということの表れかだと思いますので、ぜひ活用をしていただいて、子どもたちのために十分にご指導できるような形での頑張りをよろしくお願いしたいと思います。

あと次に、23ページ、集落公民館整備事業、エアコン設置補助というのが新規でありますけれども、台数は何台あるのかお尋ねします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴 木 敏 君）

お答えします。台数につきましては、3地区の公民館ということで予定しているところでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

3台ということになるかと思いますが、集落公民館については地区のほうの管理ということになりますので、設置してるところはもうすでに設置されており、ほかの防災等の助成事業なんかでもありますので、それを補うための整備事業なのかなというふうな認識をしております。その補助の率についてはどれぐらいになるのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴 木 敏 君）

補助率でございますけれども、10分の7で、限度額を20万円ということにしております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

他の事業と同程度かなというふうに思いますので、その中で十分集落のためになる運営ができるようにということで、ぜひよろしくお願いしたいと思います。

あと次に、予算書90ページ、4款2項1目、環境衛生事業組合負担金ということで、この内容についてご説明をお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

お答えいたします。環境衛生事業組合負担金でありますけれども、こちらのほう昨年度より増額となっております。増額の要因でございますが、パッカー車が老朽化のため1台購入予定であります。また、ごみ処理施設更新に向けた、ごみ処理施設更新計画支援業務委託を発注する計画となっております。またほかに、ガス化溶融施設の維持管理補修として、令和4年度につきましては炉本体の耐火物の補修などを行う予定でございます。令和4年度の環境衛生事業組合の予算につきましては、3月24日に開会される環境衛生事業組合3月定例会へ上程されるものでございます。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

安井一義委員。

◎安 井 一 義 委員

増額の内容について、パッカー車更新、あとガス化溶接施設の修理ということで、費用が非常にかかるような内容になっているかと思いますが、尾花沢市大石田町環境衛生事業組合での整備ということで、まだ事業組合のほうの議会が終わっていないということで、その予定されているということになるかと思いますが、必要なところに必要な予算をいうことでの考え方で、やはりその更新に向けた調査ということで、今後人口減少はあるものの、処理するごみ処理等の負担については、そんなには減ってこないのではないかなというところは感じられるところなので、ぜひ更新に向けてお願いしたいと思います。私からは以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星川薫委員

それでは私のほうから引き続き質疑をさせていただきます。

予算書の94ページ、96ページになります6款1項3目、説明資料の10ページNo.3でございます。尾花沢市6次産業化総合支援事業費補助金及び特産品開発事業費補助金、拡充について、ご説明をお願いいたします。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

農林課長。

◎農林課長（岸栄樹君）

お答えいたします。予算書の94ページの一番下段に、市6次産業化総合支援事業費補助金70万円でございます。こちらのほうは、今年度と同様に継続という形で行わせていただきます。96ページ一番上段にあります、特産品開発事業費補助金300万円ですけれども、令和3年度の250万円から50万円拡充をさせていただいたということで、今年度、第一弾となる特産品開発協議会を立ち上げまして、商品開発を行ったところなんですけれども、1年間行ってきてですね、やはり雑材といえますか、やっぱり契約外の例えば箱代ですとかちょっとしたものがだいぶかかったなということで、50万円を増やさせていただいたところでございます。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

星川薫委員。

◎星川薫委員

50万円アップということでございます。昨年ですね、令和3年度の特産品開発の事業実績をお聞かせください。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

農林課長。

◎農林課長（岸栄樹君）

令和3年度の2つの事業についてご説明をさせていただきます。

まず第1点目の6次産業化総合支援事業のほうでございます。こちらのほうは、調査研究開発費、販路開拓費、機械設備購入費の3タイプございまして、個人が6次産業化に資する投資を行った際の個人支援事業になってございます。10件採択させていただきまして、126万6,000円の執行でございました。

もう1点、尾花沢市特産品開発協議会での事業でございますけれども、こちらは補助金といたしまして、補正のほうをさせていただきながら、255万円ほど協議会のほうに負担させていただいてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

星川薫委員。

◎星川薫委員

昨日の一般質問でも、焼肉のタレ、「尾花沢すいかタレ」と「尾花沢すいかドレ」ということで、万能ドレッシングを開発されたというふうに伺っております。協議会のほうはこの2種類ということでよろしいでしょうか。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

農林課長。

◎農林課長（岸栄樹君）

お答えします。協議会で当初考えたのは、焼肉のタレのみでございます。昨日もお答えしたとおり、副産物として万能ドレッシングのほうが出来上がって、最終的には姉妹品という形で発表できたということは大変大きな成果につながったのではないかとというふうに捉えてございます。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

星川薫委員。

◎星川薫委員

まあ、「尾花沢すいかタレ」、私もまだ食してはいませんが、今後ですね、この「尾花沢すいかタレ」や「尾花沢すいかドレ」の販路についてどのように考えているのか、お伺いいたします。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

農林課長。

◎農林課長（岸栄樹君）

今年度の新たに立ち上げた協議会事業としてやらせていただいていますけれども、やはり開発にはどうしても外部のほうに委託せざるを得ないということで、250万円のほとんどが委託費になっているわけなんですけれども、こちらのほうでは、開発商品化はもとよりなんですけれども、最後の販路のほうまでお願いしたような契約をさせていただいております。既存の市内企業さんが、牛肉まつりで皆さん味わったことあるかもしれないですけども、尾花沢すいかのタレ既存のものがございますので、マーケットを勝ち合わないようにというか、同じマーケットに乗らないような形でということで販路のほうは考えて動いてございます。現在は、中・高所得者向けの東京圏内にある首都圏にあるスーパーとかに並べるために、その契約の中で反応のほうを当たっていただいているというところでございます。

◎予算特別委員長（小関英子委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

だいたい内容はつかめてきたかなというふうに思います。

また、ふるさと納税で尾花沢牛を返礼品としてやっているわけで、このすいかタレやすいかドレを返礼品としては考えていないでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

すでに返礼品として掲載してございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

私の勉強不足でした。ぜひセットで返礼品としてやっていただいて、尾花沢を知っていただくというのが一番重要だと思いますので、よろしく願いいたしたいと思います。

次に移ります。予算書の96ページ、6款1項4目、説明資料の11ページNo.8になります。尾花沢牛振興協議会負担金のうち、和牛オリンピック連携事業の事業費300万円についてご説明をお願いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

農林課長。

◎農林課長（岸 栄 樹 君）

主要事業にも掲載してございます。令和4年度に向けて尾花沢牛振興協議会負担金拡充をさせていただいた内容が、和牛オリンピック連携事業に向けた新たな取り組みということで、300万円追加をさせていただいたところでございます。この和牛オリンピックについてでございますけれども、正式名称が、全国和牛能力共進会と申しまして、5年に1回ずつ開催されるものでございます。こちらのほうに、初めてなんですけれども、尾花沢生まれ尾花沢育ちの尾花沢牛として出品をさせていただいて、入賞のほうを目指すという形になっております。300万円の内容なんですけれども、この共進会につきましましては、出品牛を買い戻ししなければいけないということもありまして、300万円の経費のほとんどがその経費になってございます。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

出品した牛を買い取りしなくてはいけないということでございます。3頭ですから、上位に3頭なんか入ってしまえば数千万という額になってしまうかと思

います。尾花沢牛、ブランド肉としても、もちろん上位に入ればですね、宣伝効果にもなりますし、ぜひ上位に入っていただきたいなというふうに思うんですけれども、もし、もしですよ、3頭が上位に入った場合、補正予算等組むつもりなんでしょうか、お伺いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

農林課長。

◎農林課長（岸 栄 樹 君）

大変ありがたいお話だというふうに思っております。ただ3頭すべてがこの300万円で買戻しするというものではございませんで、県内の関係団体、関係JAさんとか、県のほうのご協力もいただきながら、事業のほう完了させるつもりでございます。とりあえず尾花沢市は、300万円のうちで対応するというところで今のところ協議のほうさせていただいているところで

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

分かりました。昨日一般質問でもありましたけれども、GI保護制度の話も出ました。県内でGI登録は5登録ほどされています。昨日の答弁にて、今回の尾花沢牛に関しては、現地視察を残すのみというふうにお答えいただいております。ぜひですね、今年度、コロナ禍ということではありますけれども、今年度中にGI登録するように頑張っていただきたいなというふうに思います。

それでですね、もう一つお伺いしたいのは、尾花沢牛の海外への輸出状況や販路はどのようになっているか、お伺いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

農林課長。

◎農林課長（岸 栄 樹 君）

以前に関係JAさんを中心に、山形県の全農さんを中心に、海外に向けてチャレンジをした実績もございます。現在は、個人取引が主になってございます。なぜかと申しますと、海外輸出に向けた県内のと殺場がないということで、海外に向けた輸出向けには、大変ハードルが高いような状況になってございます。その中で、令和3年度につきましましては、1事業所さんが、岩手県のと殺場を活用して海外に向けたという報告を受けたところでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

海外に販路を伸ばすということは、非常に重要かと思っています。日本の国内人口が減っていますし、かといって、ブランド牛というのはたくさんございます。なかなか国内だけでは売り切れないのかないうふうに思いますので、その辺もですね、勉強していただいて、ぜひ海外での販路のほうも伸ばせるように頑張っていたきたいというふうに思います。

次の質問に移ります。予算書の104ページ、7款1項3目、説明資料16ページ№35、徳良湖周辺施設整備事業の890万円の内訳についてご説明をお願いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。徳良湖周辺施設整備事業890万円、こちらのうち370万円については、グラウンドゴルフ、パークゴルフ場拡張工事の測量設計となっております。利用者等からも要望もございまして、また現在運用しているグラウンドゴルフ場、パークゴルフ場のコースレイアウトを変更していくとともに、キャンプ場利用者等からも頂上付近から見える徳良湖の景観を楽しんでもらえるような空間ということで、トータル的に構築していくための工事を考えているところでございまして、その測量設計業務になります。また、残り520万円につきましては、徳良湖周辺松林内の照明設備の工事についてでございます。昨年の冬、徳良湖の北側の松林について、降雪によって倒木に見舞われました。遊歩道沿いに設置してあった街路灯が、その電線の影響も受けましてそのまま使用不能になっている状況でございます。そこで、徳良湖マスタープランにもございますけれども、サイクリングコースのライトアップというような計画がされていることから、遊歩道沿いに電線を地中化しながら、埋め込み式の照明にすることで無電柱化を図る、これによって夕暮れ時も利用者の皆様に楽しんでいただけるような景観保全に努めてまいりたいと考えてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

グラウンドゴルフ、パークゴルフの拡張の測量設計業務費と、松林内の照明設置工事ということでございます。本当に去年はですね、11月からの重い雪の降雪でですね、松がどんどん折れたということもあって、

去年は本当に、松の伐採費などたくさんの費用がかかったことを覚えております。本当にあそこのサイクリングロードですけども、確かに夜は暗いですね。それでなおかつちょっとコース自体にもちょっと凹凸がたくさんあるのかなということで、整備も必要だということなので前々からマスタープランのほうにも計上されているかと思われます。ぜひ安全のためにもですね、照明設置はお願いしたいなというふうに思います。

花畑造成工事の件なんですけれども、この事業に含まれている花畑造成工事ですが、去年は重機を入れて整地を行ったわけでございます。今後はどのように進めていくのかお伺いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。花畑造成工事については、令和3年度事業として整地作業を実施してまいりました。降雪によって今中断しているわけですけども、令和4年度に今年度予算を繰り越ささせていただきまして、雪解けから、駐車場、あと遊歩道の整備を行いながら、花を植える場所の土壌改良なども含めて継続して事業をしてまいりたいと考えてございます。そして造園関係者の方等々とも植栽の方法、維持管理などについても持続可能な花畑が運営できるようにしてまいりたいと考えてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

昨年の降雪前に造成工事に入ったのを見てですね、いろんな声が挙がったことを覚えております。花畑の造成工事の将来像について、どのように考えておられるのか市長にお尋ねしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

市長。

◎市長（菅 根 光 雄 君）

この花畑については、これまでもいろいろと申し上げてきました。昨年からの引き続きの継続事業となるわけでございますけれども、私が第一番目に花畑を考えた時に、あれだけの徳良湖があって、市民の足をどうやって徳良湖へ向けていけるようになるのかと言った時に、やはりお隣のやくらい、あそこの花畑も、多分議員も行ったことあると思いますけれども、非常にきれいです。さらに夢のような話ですけども、北海道の富良野のような、あんな状況になったらとても夢を描くことができるなど。尾花沢市の場合には

市の名前に花が入っていて、花で癒せるようにしていきたいというのは、前の市長さんたちからもお聞きしておりました。現在花のかけはし事業として、国道13号線を市民の皆さんのお力を借りて、花を植えて、そして通過する方々にも少しでも癒しの効果があればというふうにしてやっているわけですが、実際に徳良湖にこれからどんな花を植えていくかということはありますけれども、花というのは、人を寄せ、その効果があると。癒しの効果も充分です。そしてノーマライゼーション中で、健常者もそうでない方々も本来に来て楽しめる、そして市民の皆さんが第一番目に楽しんでいただくためには、花畑は必要であるというふうに思っております。

やはり多くの方から、「徳良湖って良いよね」と、市外から、県外から来た方が、銀山温泉に行く前に徳良湖を通って行く車が非常に多くなりました。その際に、「内陸にこんな素晴らしいところがあるのか」と、「ヨットが浮かんでいる姿を見て、ちょっと想像できなかった」というお声もいただいています。本当に、花は人を迎えるに一番心を癒してくれるものになっていくのではないかな。かつて個人で花畑をやっていた方おりました。ジャーマンアイリスや、その他のたくさんのお花を植えていて、そして会員の方も多数おられました。花の開花時期に併せて皆さんが訪れ、そしてその花を摘んでいく、そして家へ持って行って飾る、それを皆さんが楽しみにしておりました。今回の場合もですね、この花畑は今年一年でできないのは分かります。ただ整地を早く進めた上で、皆さんに全協等でお示した花畑を思い描きながら、それを進めていきたいと。そして多くの方々に花畑のほうに入っていっていただいて、徳良湖の周遊を楽しんでいただければなお良いのかなというふうに思います。できるだけ市民の皆さん、そして市内外からいらっしゃる皆さんに、本当に心を和ませていただいて、そしてゆっくりした時間を過ごしていただきたいというふうに願うところでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

市長の理想の花畑に、やくらい、富良野といった地名が出てきました。しかしながら、向こうは有料であって、それだけお金をかけても元を取れるようなことでございます。ただ尾花沢市が市民のために、あそこ一面、花を定植したり維持をしたり管理をしたりということになった場合ですね、尾花沢市の財政を鑑みま

すと、現実的にはかなり厳しいと思います。私は再考が必要だと思われますが、市長はその辺金銭的な面をどうお考えですか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

市長。

◎市長（菅 根 光 雄 君）

確かに富良野となれば、あれだけの面積ですから年間の維持管理費かなりかかります。しかし、例えば尾花沢でここまで長年やってきた花のかけはし事業を考えてみていただきたい。あれにどのくらいかかっているか議員はお分かりでしょうか。花を植える際には、市民の皆さんに呼びかけ、そして花壇を整備していくのにいろんな形でまた市民の皆さんにも呼びかけて、そしてやっていくことも可能だと思います。実際秋に花のかけはしで植えた花畑の後始末をやるとき、あれだけ大勢の皆さんが来て、あっという間にきれいにしてくれます。尾花沢市民もそういうふうな形で徳良湖に花畑ができた時に、私は立ち上がってくれるであろうというふうに思います。もちろん普段のことを考えれば、例えばシルバー人材センター、現在仕事が非常に減ってきています。そういった時に、シルバー人材センターの皆さんがあそこに力を貸していただくという方向を見出すこともできると思います。いろんな意味で、みんなできれいにすることによって、シルバーの皆さん方は、僅かながらの手間になるかもしれませんが、そんなふうにしてお小遣い稼いでいただいて、そして十分徳良湖を楽しんでいただく、そういうふうなことも夢に描いても良いのではないのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

市長の理想は素晴らしいなというふうに思います。実際花のかけはしと徳良湖を考えた時に、同じではないと私は思います。管理の仕方も全然違うと思います。暑いところにシルバー人材センターの人をやって、小遣い稼ぎしてくださいなんて言うのは大変失礼な話であって、私はそんなことでは駄目だと思います。その辺は、きちんこれからですね、常任委員会のほうに話をさせていただいて協議を続けていただきたいなというふうに思います。

次に、グラウンドゴルフ、パークゴルフの近年の利用者数をお伺いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

令和3年度の利用者数につきましては、2,078人になります。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

令和3年度の利用者は、2,078人ということでございます。令和元年度は2,400人弱、令和2年度はコロナのせいなのでしょうけども1,700人強ということでございまして、近年はですね、以前に比べて利用人口も減ってきているというふうに聞いていますが、隣のオートキャンプ場は、逆にコロナ禍ということもあって増加しているようです。また、本年度より雪上キャンプも開始してですね、新聞等でも大きく取り上げられています。普通に考えれば、オートキャンプ場のほうに力を入れるべきだと思いますが、市長はどうお考えですか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

市長。

◎市長（菅 根 光 雄 君）

全く同感でございます。ただ、徳良湖全体を見た時に、オートキャンプ場、これからできるであろうパークゴルフ場、グラウンドゴルフ場、全部一体だと思います。徳良湖で一番景観のいい場所、議員はどこを仰るか分かりませんが、グラウンドゴルフ場、パークゴルフ場の一番上、あそこに上があれば徳良湖全景が見えます。鳥海山も見えます。もちろん徳良湖全体から葉山、月山も見え、非常に景観が良い。そんな中で、このオートキャンプ場に関しては、ありがたいほど多くの皆さんが予約してくれております。そして、キャンセルが入ってもたちまち埋まってしまうと。そういうふうな中で、もうちょっとオートキャンプ場も増やしてもらえないかということもあります。ですから、これから行うであろうグラウンドゴルフ、パークゴルフ場の拡張工事っていうのは、単にコースを広げるわけではなくて、頂上付近を徳良湖の景観を楽しむ場として整備を進め、そしてオートキャンプ場を訪れたお客様も気軽に行けるような場所にしたいと考えています。そして花笠の湯にも真っ直ぐ行けるような、そういう遊歩道も整備していきたいなと思っております。よく私のほうにキャンパーから言われるのは、夕方ないしは夜に、道路を歩いて温泉まで歩いて行くと非常に怖く感じる時があると。だから照明をつけて、上のほうから真っ直ぐ行ける道があると良いなと言われています。ですから、ただ単にオートキャンプ場、

グラウンドゴルフ場をやるだけではなくて、あの辺が、オートキャンプ場とそれからグラウンドゴルフ場、パークゴルフ場、そして徳良湖温泉を一体となって考えていただいたほうが私は良いのではないかというふうに思います。多くの皆さんがオートキャンプ場に来て、そして楽しまれているわけですが、今までですと夏季しかやっておりました。私も冬山をやったものですから、冬のキャンプをぜひやっていただきたいと、私のほうからも強くお願いをして今シーズンやらせていただきました。その反響は非常に大きいのです。ですから、「冬どうやって水のないところでキャンプするんだ」と言われますけれども、雪があるということをやっぱりご理解いただけない。雪をしっかりと水代わりにして使う、そうやって私らはご飯も炊きました。そしてテントの中で食事もしました。そういうふうな経験があったということもあるんですけれども、やはりオートキャンプ場の中で、幅広い方々がお出でになる。その上で、先ほど申し上げたとおり、もうちょっとキャンプ場のほう考えてもらえないかというふうなことで、お客様からのいろんな要望が届いております。ですから、今後を考えた時に、そのキャンプ場の中にさらにもっと良い施設を作っていこうと、そんなふうにも考えております。多分これからも説明しなくちゃならないことたくさん出てくると思うんですけれども、現在あるキャンプ場の中で、一部木を伐採をするとか、その木を伐採する際には、令和3年度に伐根祭をやらせていただきました。そして、パークゴルフ場になるであろう所を伐根祭やっていただきましたけれども、今年もできるだけ早いうちに、今度はその上のほうの伐根祭を第2弾でやっていただくと。さらには来年度は、オートキャンプ場の中の木を伐根祭でやっていただくと、そしてできるだけ良い環境を作りながらですね、その場所にトレーラーハウスなんかを動員していったり、それがすることによって冬のキャンプもまた幅が広がっていくであろうと。もちろん今でもあそこの管理棟の中に、キャンプ用品が展示されていると思いますけれども、そういった中で、業者さんともいろんな意味で連携を取りながらアドバイスをいただきながらやっていけたら、もっと良いキャンプ場ができるのではないだろうか。願わくば食材をあそこで、尾花沢の物を皆さんに楽しんでいただくような、そんな形で商品に結び付けられればなお良いかなというふうに思っております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

市長の構想が初めて分かったかなというふうな気がします。

関連してですね、キャンプ場からグラウンドゴルフ場、グラウンドゴルフ場から花笠の湯に一气に行けるようにするんだと、そういう話は、議会側には一回もきてません。初めて今日お伺いしました。そういうことを議会のほうにもきちんと説明をしていただいて、こういう予算計上にあたっていただきたいというふうに思います。

次に移りたいと思います。予算書の104ページ、7款1項3目、説明資料同じく16ページのNo.36、基幹集落センター屋内遊戯場整備事業の内容についてご説明をお願いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。基幹集落センター屋内遊戯場整備工事測量設計業務委託400万円についてでございます。徳良湖周辺において、雨天時の対応というふうなことも含め、屋内遊戯場を整備するというとでマスタープランにも書いてございますけれども、それらを目的としました設計業務になります。子連れの親子がくつろげる空間ですとか、使いやすさを配慮した改修などを目指していくために、福祉課とも連携した設計を進めてまいりたいと考えてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

屋内遊戯場ということでございます。マスタープラン確かにこれ9月に改訂して、初めて出てきた言葉です。そして、平成30年のマスタープランには、屋根付きの遊び場というのが、ワークショップ1班から6班まであるんですけれども、その中の1班か2班のところにちょこっと掲載されているだけでございました。それも私確認しています。測量設計費ということでもありますけれども、屋内遊戯場を整備するにあたり、対象年齢はどのように考えているのかお尋ねいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

福祉課長。

◎福祉課長（吉 野 真 広 君）

お答えいたします。今商工観光課長からありましたとおり、我々福祉課とも連携しながら対応しておりますけれども、基本的に園児を考えておりますが、親子

が一緒に行動する年代は、お子さんがスポーツ少年団に入団して活動するのが小学校の低学年ぐらいまでですので、そこまでを想定いたしております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

この事業が予算に組み込まれたことによってですね、施設を訪れ、多目的室やトイレなどを見させていただきました。かなりの老朽化やあとは多目的室の薄暗さ、あと空調の古さ、トイレの改修など、私が見る限り数千万円に及ぶ修繕が見込まれると思います。現在修繕費や整備にかかる金額はどの程度を見込んでいるのか、お伺いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

福祉課長。

◎福祉課長（吉 野 真 広 君）

お答えいたします。今、星川委員からありましたけれども、改修にかかる費用については設計によって明らかになりますが、休憩室、授乳室、トイレの洋式化及びLED照明設置のほか、遊具の設置が考えられます。例えば天童市にあるげんキッズでありますけれども、遊具費は9,000万円弱でありました。しかしながら基幹集落センターの広さは、その3分の1程度でございますので、大型の遊具は入らないために遊具の規模も縮小されると考えられます。改修費はおおよそ3,000万円～4,000万円を考えておりますが、基幹集落センターなどの既存の施設を活用して、最大の効果が得られる内容となるよう、過疎債と有効な財源の活用を考えております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

今、課長が仰られたように、施設の遊具に関しては、3分の1程度で3,000万円ぐらいかなと。あと、修繕に関しても3,000万円～4,000万円ということで、結構な金額いくんじゃないかなと私も想定しています。あとやっぱり基幹集落センターですけれども、階段がすごく急でございます。子どもが上がっていくにはちょっと1人では上がっていけないというふうに私は見ているんですけれども。あと授乳室等々ですると、ふるさと振興公社があそこに入っていますけれども、公社の職員がいる場所がなくなってしまうというふうにも見えています。もしかしたら上にあげちゃうのかどうかは分からないですけれども、その辺もちょっと急すぎるのかなというふうに思っています。もう少しこ

の辺も予算に挙げる前にですね、常任委員会のほうに諮って挙げてもらわないと、いきなりこういう体勢で来られては、私たちはこの場でしか聞けないですね、常任委員会のほうで聞かないとイメージが湧かないですね。その辺の説明責任も当局にはあると思います。今、課長から説明を受けたので、大体の構想は分かりました。今後、この件もですね、きちんと常任委員会への協議・報告等よろしくお願ひしたいと思います。

次に移ります。予算書106ページ、7款1項3目、説明資料の同じく16ページのNo.37、徳良湖自然研修センターリニューアル事業について、内容のご説明お願ひいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。徳良湖自然研修センターリニューアル事業についてでございます。近年、利用者の減少によって、なかなか施設の利用が進まない徳良湖自然研修センターを有効活用するために、3階の合宿機能を、令和2年度においてある程度リフォームした部分がございますので、その部分はそのまま残しつつ、2階のロビーをワーケーションスペースに改修しまして、Wi-Fi機能の充実、あと照明のLED化などを予定していきたいと思っております。この環境整備によりまして、徳良湖マスタープランに基づき徳良湖を拠点とした新しい働き方、あとは人材育成などを提唱して、さまざまな分野の人が市内の企業または子どもたちと関われる、コミュニケーションが取れる空間づくりをしていきたいと思っております。また、市内の企業様等につきましては、気軽に会議やテレワークができる空間を提供するということで、徳良湖の優良な景観と豊富なアクティビティを利用し、うまく連携したワーケーションの実施も可能かと思っております。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

コワーキングスペースの整備とのことであります。何席を設けるのかお伺ひいたします。また年間の利用者は、どの程度を見込んでいるのか併せてお伺ひいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

答えいたします。2階ロビーのコワーキングスパー

スは、打ち合わせのできるテーブルセットなどを5～6セットほどを用意したいと考えてございます。また、団体利用など大人数での利用があった場合、そのようなニーズに合わせまして、レイアウトを増やしていきたいような準備はしていきたいと思っております。年間利用者の目標は特にこれからスタートということもありまして設定してございませんけれども、働き方改革が推進されまして、コロナ禍における新生活様式の一つとしてテレワーク環境というのが必要不可欠になってくるかと考えております。また、人材育成の場としても、この場所について市内外の多くの皆様にご利用いただきたいと考えてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

これもですね、コワーキングスペース、12月に副市長が初めて私の一般質問に対して出された言葉でございます。これに対しても、議会側への説明はなく、今回の新年度予算に800万円というふうに計上されてですね、非常に違和感を持っていますし、しっかり本当に先を見据えているのか、議論がなされたのかと疑義を感じてなりません。この件について副市長に説明を求めます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

副市長。

◎副市長（石 山 健 一 君）

今、星川委員からお話がございましたけれども、経過については少し共通認識に食い違いがあるなと思っておりますので、若干経過も含めてご説明させていただいて、ご答弁させていただきたいと思っております。

この自然研修センターは、現在非常に使われていないという状況もあります。元々平成28年のマスタープラン作る時にですね、その時のワークショップでも、先ほどの基幹集落センターとこの研修センターについては、非常に有効活用されていないと、もっと活用すべきだというようなご意見がございました。実際にその後、この施設の利用状況等も令和2年度などは、1企業さんが研修で秋と春に使っていただいたということだけでございました。今年もほとんど使われていないというのがあります。ですので、こういう非常にもったいない、しかもあそこの徳良湖のロケーションからしたら非常にもったいない状況になっております。それでこれをなんとか早く解消すべきと思われるということがございます。議会へのご説明のお話がござい

ました。私のこれについては、マスタープランのですね一部改定の際に、皆様にご説明をしてきた経緯がございます。令和3年8月10日の総務文教常任委員会で、最初マスタープランの一部改訂のご説明をさせていただきました。元々徳良湖の北側、東側、こちらの整備については、それまであまりその内容が盛り込まれていないということで、やはり北側、東側も含めてですね、どこに行っても徳良湖楽しめるようなですね、そういう徳良湖、人の集う所にしたいということで、主に重点的に北、東側の整備を追加させていただいたという経緯がございます。その中で、親水公園とこの遊休化しているしている基幹集落センターへの屋内の整備についてご提案させていただきました。その委員会の中で委員の皆様方から、Wi-Fi等の通信環境の整備等々の11項目にわたるご意見を頂戴いたしました。その後、8月23日の同じ総務文教常任委員会の中で、私どもとしては、その皆様からのご意見を踏まえて、テレワークとかワーケーションができるですね、Wi-Fi等の通信インフラの整備をプランに追加したいということで、皆様にお話を申し上げております。この結果については、翌25日の全協のほうに、委員長のほうからご報告いただいたというふうに考えております。こういった手順を踏まえて、9月マスタープランの一部改定をして、10月1日にホームページ公表をしていると、こういう手順を踏んで来たものでございます。12月定例会の時に、先ほど星川委員からございました一般質問で、私はコワーキングスペース整備の検討について答弁させていただきました。プランの一部改定については、先ほど申し上げましたように、議会の方への対応として、手順を積んできたつもりでございますが、この議会の皆様方からご要望のテレワークあるいはワーケーション、これを推進するにはWi-Fi環境と通信環境だけでは、これなかなか進みません。当然ながらその通信を利用してですね、効果的な業務を行う場所が必要になるわけでございます。その場所として、一般的にコワーキングスペースというものを整備するというのが、通常で、今セットでどんどんどんどん各地でできてきております。そういうことを踏まえながら、徳良湖ロケーションでありますとか、このアクティビティも充実していますので、こういう資源を活かして、尾花沢らしいコワーキングスペース整備が行えるのではないということで、12月にお答えした次第でございます。コワーキングスペースという言葉は初めてそこで聞いたというふうなお話でございますけれども、議会の皆様方からのご意見を踏まえてで

すね、それを効果的に実現する方法として、取り組んでこういうふうな形でどうかということで、12月にお答えしたものでございまして、ぜひ、私どもももっとももっとどういうふうにしていったら、これからのデジタルの時代に活用が進むかっていうのは、まだ模索しながら進めている最中でございますので、ぜひ議会の皆様方と政策の中身でですね、前向きな議論ができれば大変ありがたいなというふうに思っております。あともう1点、委員のほうから、内容的に先を見たものになっているのかと、そういう議論はなされたのかというふうなお話がございました。この点につきましては、ワークショップの開催を実は行っております。マスタープランにおけるワークショップについては、先ほどの8月23日の総務文教常任委員会の11のご意見に対して、市側としての回答でこの点がありましてですね、今回改訂された部分の市民意見の反映につきましては、「方向性を大きく変えるものではないため、策定時に開催されたワークショップで出された市民の意見を反映させています」と、市民には、市報等を通じてお知らせするというふうなご回答をし、全協にもご報告され、そういう手順で改訂が行われたというふうに理解しております。

では実際にワークショップ、具体的に何をどういうふうに作っていったらいいのかということについて、私どもさまざま検討をさせていただいております。5回ほどですね、こういった内容の検討する場を設けております。昨年の8月ですが、最初に市と市内のデジタル分野に非常に詳しい、あるいはそれを使って起業をやっているあるいは目指している若手の方々、スタートアップ起業を目指してやっている方々と、4人程でしたけれども、デジタルに関する地域課題の検討と、それからあそこを活用してどういうふうなやり方ができるかというふうなことで、ディスカッションをさせていただきました。その後同じ8月の末頃でしたけれども、さらにそのメンバーに、県のデジタル化推進の企画のほうですけど、そちらの方々とオンラインで、やはり同じようなテーマで、さらに突っ込んでそこを掘り下げてその議論をさせていただくということで、県からの、その中でもコワーキング推進の助言なんかもいただいております。さらには10月にはほぼ同様のメンバーで、今度は県のほうから現地に来ていただきました。そこで再度あそのセンターの活用法としてのご意見もさまざまいただきました。先ほどのスタートアップの若手の方々からも、コワーキングスペースなんかがあれば良いねとこういうような話も

その場でいただいております。そのあと12月になりまして、今県のほうにですね、駅西にですね、県が持っているコワーキングスペースがあります。そこの運営に一部携わっている関連企業の方から現地を見ていただきました。活用方法について可能性についてですね、いろいろご助言をいただいたということがあります。最後に、2月4日でございますけれども、これは今まで出てきたメンバーの方々、それにですね加えて徳良湖に実際あそこのアクティビティをやっている方々、伊藤瓢堂先生なんかもアートという観点でいろいろ参加していただきました。それから、県内あるいは全国ですね、デジタルやSNSを活用したインフルエンサーの方々、いわゆる発信力の強い方々、それからコンサルタント、企業の経営者、大学の教授など、数十名の方にオンラインで参加していただいて、研修センターをホストにして、まさにコワーキングをイメージして、オンラインのワークショップをさせていただきました。その中でも、センターを使ってみたい、徳良湖に行ってみたい、ぜひこういうふうな徳良湖の周辺に関しても、さまざまなアドバイスをいただいたという経緯がございます。これらを踏まえてですね、他にはない徳良湖ならではの、ああいふマルチな研修センターの使い方、コワーキングの使い方ができるのではないかと考えております。具体的には、今までいただいた中から、例えばですね、従来の研修とか、合宿、青少年の交流等に加えてですね、あの機能をそのままできるだけ維持しながら、テレワーク、即徳良湖がありますのでワーケーションができるということになります。あとは、首都圏等の企業がチームで来て、あそこで実際に企画会議をやれたり、大学のデジタルを活用した合宿ができたり、そういうことがさまざまもちろん地元の方々のミーティングもできます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類委員。

◎大 類 好 彦 委員

制約ありますので、答弁は短く分かりやすく願いたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

副市長。

◎副市長（石 山 健 一 君）

ぜひ議会の皆様方とも、これからも一緒になって考えていきたいと思います。ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

10分程使われてしまいましたけれども、9月にですね、徳良湖マスタープラン改訂しているんですけども、その中に分かりやすくコワーキングスペースの整備とかそういう文言を入れていただければまだ分かったのかなというふうに思います。そういうところもですね、まだまだ当局が議会に対して説明不足かなというふうに思いますし、今パレットスクエアの問題もでございます。その中で、いきなりやっぱ子どもの遊び場、いきなり徳良湖にということに関しても、やっぱり説明不足なのかなというふうに感じているところがありましたので、今回質疑のほうに入れさせていただきました。

最後になります。私からの最後になります。予算書54ページ、2款1項11目、説明資料20ページ№57、デジタル人材育成支援事業の内容についてご説明をお願いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

デジタル人材育成支援事業についてお答えいたします。こちらにつきましては、山形A I部コンソーシアムという団体と連携しまして、産学官の連携の組織の協力を得まして、実践的なA Iプログラムの習得に取り組み、将来のデジタル人材育成を図るものでございます。本市に存在いたします企業様の地域未来牽引企業3社の協力を得まして、それに行政が伴走しながら、北村山高校のカリキュラムの中で実践する他には類をみない尾花沢モデル、お忙しいところですが3社の方にご協力をいただいて、コーチとなつていただき、内発的なデジタル人材に資するものでございます。このA Iプログラミングを習得することで、地域課題解決に必要なノウハウを身につけることができるとともに、地元企業の良さを改めて認識していただくことができると思います。魅力的な北村山高校にすることができるとも、そしてその地元企業への就職、こちらを増やしていく、そして定住につなげていくというような将来像を持って実施していきたいと考えてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

高校生を対象にしたということでありまして。生徒何名程度を対象にするのかお伺ひしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

県内では取り組まれている学校もございまして、だいたい1校あたり4～5人が多いようでございます。北村山高校には、情報処理部という部活動がございまして。また、2年生になりますと、情報処理科目というような授業もありまして、始めはこちらに所属している2年生は全員対象になりますけれども、その中でも興味のある生徒さんを募集しまして、そこからスタートしていきたいと考えてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

星川薫委員。

◎星 川 薫 委員

これ行政と民間企業、高校が連携してですね、将来の尾花沢を良くしていこうという画期的な事業ではないかなというふうに思います。私たち議員もですね、協力していかなければならないというふうに感じているところです。ぜひ成功に向けて実施していただきたいなというふうに思います。以上で私からの質疑を終わります。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

ここで、10分間の休憩をいたします。

休 憩 午前11時16分
再 開 午前11時24分

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

再開いたします。

休憩前に引き続き令和クラブの質疑を許します。

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

それでは、私の総括質疑を始めます。短めにパッパッと行きたいと思いますのでよろしくお願いします。

説明資料14ページ、5款1項1目、25番ですね、シルバー人材センター運営支援事業ということで、780万円継続でございます。目的のほうで、高齢者の労働創出を通じた生きがいの充実や社会参加の促進ということですけども、どのようにして生きがいの充実、社会参加の促進をしていくのか、目的を達成するためにどのようなお考えでしょうか。お聞きしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。この運営補助金につきましては、高齢者の就業機会の増大、福祉の増進を図るというような目的で交付している補助事業でございます。概ね60歳以上の健康で働く意欲的な能力を持つ会員に対して、就業機会を与え、新会員を募集したり、広報活動、ボランティア活動をやっていく、シルバー人材センターの運営を円滑にさせていただくための補助金と認識してございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

課長から、会員募集、就業の提供というお話ありますけれども、過去20年、15年ぐらい前までは、市の仕事と民間の仕事の割合は50%・50%でありました。ここ数年は、市の仕事、公共の仕事が20%、民間が80%ということになっています。また会員数は、300～350人いたものが、今は280～250ぐらいになっております。今そういうところに力を入れると言っておりますけれども、そういうふうに下がっておりますが、どのようにお考えでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。この令和3年度におきまして、高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正がございました。定年退職これまで60歳となつてございましたけれども、70歳までの高齢者に対して雇用機会を与えてくださいと、企業に努力義務というふうになったことも受けまして、やはり企業様が高齢者のほうも雇用していくというようなこともシルバー人材センターの会員の不足につながっているものと考えられます。新規会員の募集につきましては、シルバー人材センターのほうでも、お知り合いに声かけをしたりですとか、いろいろな形で募集を頑張っております。そちらの事業がきちっとできるように、市としても支援してまいりたいと思います。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

私も今年で60歳になり、シルバーの会員になる権利が出てきました。本当に皆さん必ず歳をとります。やはりシルバーの事業っていうのは、皆さんに関係してくる重要な事業だと思います。ご指導のほうよろしくお願いしたいと思います。

続きまして、15ページ、30番プレミアム商品券発行

事業、7款1項2目、継続500万円でございます。尾花沢市の商店街は、隣接市町村から見ても引けを取らないくらい頑張っていると思います。プレミアム商品券で、何割かのプレミアム部分をつけることによって、商店街の活性化に役立っていると思います。当初は、一番最初の頃、プレミアム商品券を発売した時は10%でした。最近では15%、そしてまたコロナ禍のいろんな補助金を使って30%となっておりますけれども、今回は何パーセントで、どのような形になっているかお知らせください。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。今回の令和4年度当初予算で、お願いしてございます、このプレミアム商品券発行事業500万円につきましては、プレミアム率15%の商品券を春と秋、2回の予定で計上したものでございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

今までコロナ禍後において30%となっていたものが、15%という若干心細いような気がいたします。例えば、500万円の中で、簡単に言えば1万枚発行するものを9,000枚とか8,000枚にして20%にプレミアム分を上げるとか、そういうこともできるんじゃないかなというふうに考えております。ご検討のほうよろしくをお願いします。

続きまして、説明資料の23ページ、一番上No.76、無形文化財保存活用事業、10款4項1目でございます。10万円新規であります。こちらのほうは、無形文化財の伝承ということで、尾花沢雅楽保存会、まつり囃子保存会、市の無形文化財に対して補助するというものだと思います。

経費、講師謝礼などがありますが、物品購入など楽器の修理などは使えるのかどうか、またこの補助は10分の10なのか、例えば2分の1とか3分の1なのか、その辺ご説明をお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴 木 敏 君）

お答えいたします。補助の対象の中身ですけれども、文化財の保存、伝承の保存経費の他に、また楽器ですとか修理ですとか、そういったものに対しても使えるような形の補助金になってございます。補助率につき

ましては2分の1ということにしております。他の自治体なども見ますと2分の1もしくは定額といったところがほとんどでございまして、10割補助というところがないこともありまして、2分の1ということで考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

私も、雅楽やまつり囃子に参加させていただいております。ありがたいことだとは思いますが、やはり無形文化財ということで、他の趣味の会とは違うと思います。好きだから楽しくやって、飽きたからやめるっていうことには、それはできないんです。私も早いもので40年になります。まつり囃子とは。それでもまだまだ下っ端で、やっている人は50年、60年やっています。もう飽きたからやめたって、そういうものではございません。そして、私たちも出演料なんかを全部貯めて、今まで個人的にみんなでお金を分けて使ったりしたことはございません。全部積み立てて、楽器の修理なんかに使っております。そうやって細々と少しずつ、1万円とか2万円とか出演料を貯めてきて、楽器の修理に使って、そして今東京の宮内庁の雅楽の先生方にリモートで教えてもらっています。そういうのを謝礼に使って、今現在ほとんどお金がないような状態になっております。そこで2分の1と言われても、じゃあ私たち楽人の方がお金を出して半分いただくのか、やはりそういうのはちょっと難しいような気がいたします。できれば2分の1の補助金というよりも、運営に全体に5万円ずつ、運営に使ってくださいというような形が望ましいと思いますので、今後のご検討をよろしくお願ひしたいと思います。続きまして、29ページNo.110、道の駅15周年イベント開催事業、8款2項1目、新規でございます。130万円。道の駅の15周年イベントのPRと誘客ということでございます。内容について、例えば夏とか秋とか、いつ頃するのか。道の駅も去年ですか、産直のほうとお土産のほうの壁を取って、広くなってものすごく良くなったなというふうに思っています。また、オープンした頃は、あそこが高速道路の最終ということで、そこでトイレなんか使って、売上げなんかも県内で1位になったり、東北でもトップクラスのこともあったと聞いています。高速がどんどんつながって通過するようなことになっていくと、ちょっと心配しているところではございますけれども、ここに15周年のイベントの他にPRと誘客ということがありますが、そのあたりはどの

ようにお考えですか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

お答えいたします。道の駅の15周年イベント開催事業ということで、予算のほうは全体で130万円になっております。

大きく分けて2点あります。

まず、東北中央自動車道、こちらのほう、令和4年中に首都圏と結ばれるような形になります。その上で、道の駅のほうも平成19年8月にオープンしております、ちょうど15周年を迎える状況であります。道の駅のPRと、あとは市の観光促進を図るための事業となっております。

まず、1点目の全線開通と15周年記念セレモニー関係の経費であります。こちらは全体で75万円を想定しております。今の予定でありますけれども、花笠踊りの披露の経費ですとか、あとは芋煮の振舞い、あとは来場者への記念品等、あとはその他イベント経費というようなことで考えております。

あと、道の駅のPR事業費補助金ということで、55万円想定しております。こちらのほうは、指定管理者への補助ということで今の段階で考えておまして、パンフレットの作成ですとか、あとは県外、福島辺りの道の駅と連携したイベントの開催経費の補助というようなことで考えております。開催時期につきましては、東北中央自動車道の開通に合せた形で事業のほうは実施していきたいというふうに考えております。今、開催日のほうは、全線開通の日程等がまだ決まっておりますので、そちらのほう決まった段階で、内部、指定管理者、関係課のほうと協議しながら、日程等、あとは具体的なイベント内容のほうを今後調整していきたいというふうに考えております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

芋煮ということなので、多分秋ぐらいになるのかなというふうに思っていますけれども、別に夏に芋煮振る舞っても悪いということではないんですけれども、よろしくお願いします。

続きまして、説明資料32ページのNo.131、まちなか空き家再生事業、402万7,000円新規でございます。こちらちょっと一般質問とも重なってしまったんですけれども、空き家を解体して住宅として提供するということですが、4年度中には何件ぐらいを目途に

しているのか、お知らせください。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

お答えいたします。まちなか空き家再生事業というように、昨日の一般質問の中でもありました。こちらの事業につきましては、土地と建物のほう、要件を満たした物件について、市のほうで寄附を受けて、市のほうで解体して、そちらのほうを宅地分譲地として販売していく事業になります。件数については、解体の工事費として200万円を計上しております。一応1件ということなので計上しております。あと実施箇所、場所等が決定した段階で、山形県の住宅供給公社のほうと連携して、そちらに対しての負担金というようなことで、202万7,000円ほど計上しているような形であります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

4年度には1件ということですのでよろしいですね。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

今回、令和4年から初めての事業であります。いろいろな先行自治体等の情報もお聞きしながら、まず新たな事業を実施していくというようなことで、どれぐらいの数がくるか想定できませんので、まずは1件というようなことで、予算のほう計上させていただきました。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

昨日もちょっとお話ししましたが、私の住んでいる桺町地区でも数軒空き家があるような状況でございます。新町や上町のほうでも、たくさんあると思います。追加補正ということもあると思うんですけれども、通学路なんかで、危ないような場所もあるようでございますので、今年から始まるということで、いろんな難しいこともあるかもしれませんが、スムーズに数件できるような形で頑張っていきたいというふうに思います。

続きまして、同じページの一番下でございます。No.134番、新エネルギー設備導入補助金でございますけれども、この事業概要のほうに、太陽光、木質バイオマス、太陽熱、地中熱、雪氷熱など、いろいろあるん

ですけれども、どれをどのぐらいとかってというのはあるんですか。ただ全体で均等に増やしたいとか、どのくらいの件数とか見込んでいるのか説明をお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

件数でございますけれども、令和3年度の見込みとしまして、太陽光発電が7件、そしてバイオマスが1件の今現在の状況でございます。ただ、今後ゼロカーボンシティを進めていく上で、4年度につきましては、太陽光、それから蓄電池ということで、太陽光に付随する蓄電池になります。こちら新規ということでさせていただきました。それから、木質バイオマス、雪氷熱、ピークルトゥホームということで、こちらも新規になります。電気自動車のバッテリーを自宅でも使えるというものであります。こちらのほうを補助対象としまして、だいたい16件分ぐらいを見込んだところでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

ゼロカーボン化、SDGs、今世界的に頑張っています。持続可能な世界、私たちの子ども、孫の時代に、本当に地球がどうなっているかというような問題までつながっていくことでございます。16件ということですけれども、令和3年度が太陽光が7件で、木質バイオマスが1件ということ、積み上げて162万円ですか、なったと思うんですけれども、この辺も、もっともって将来の子どもたちのために頑張っていたきたいというふうに思います。

次に参ります。33ページNo.139、給水車購入事業負担金でございます。圧送式の給水車を購入することですけれども、圧送式というのは、普通の圧送式がついていない車に入れ替えできるということだと思うんですけれども、どういうふうな利用をしていくか。例えば今までですと、水が無くなって、まだ給水していて、留守になってしまうということがないように、圧送式の車で行って水を足すことができると思うんですけれども、圧送式給水車の活用法について伺いたいします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

圧送式給水車の活用方法であります、例えば大きな病院ですとか、福祉施設におきまして、受水槽が設

置している施設があるかと思います。大概上のほうにあるわけですけれども、そちらのほうに、圧送式ということで、ポンプを使いまして、受水槽のほうに給水するというのを想定したものでございます。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

何らかの地震とか、ポンプの老朽化などで、水資源が無くなった時に、花笠の湯に、皆さんから無料で入っていただいたこともあります。花笠の湯にも水の提供はできるような形になっているのでしょうか。そういう方向とか、例えばステーキハウスとか食べに行くところにも、貯水槽があつて水が貯められるようになっていけば、水が来なくて正月にレストラン徳良湖、旧ステーキハウスに私も親戚と行ったんですけれど、水が出なくて今日は休みだというふうに言われました。そういう公共のところ、温泉とか使えるような方法もあるのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

受水槽のほうがあれば、そこまでポンプで送るわけなんですけれども、そういった設備があるとか、あとはホースのほうを準備して送れるようであれば送れるということで考えてございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

大類好彦委員。

◎大 類 好 彦 委員

ぜひ考えていただきたいと思います。以上で私の部分は終わります。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

それでは、私のほうから引き続き総括質疑をさせていただきます。

10款1項2目になりますけれども、説明資料のほうで簡潔にやっていきたいと思いますが、No.59、20ページ学園構想推進事業が112万5,000円ということで計上されております。この点につきまして、小中学校建設検討委員会の運営というようなことが出ております。この内容についてお尋ねいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

小中学校建設検討委員会の運営の内容についてのご質問ですけれども、来年度、学校関係者と幼稚園と保育園の保護者代表、小中学校のPTA役員、あとは地域の代表と学識経験者などからなる学校建設化検討委員会を立ち上げていく考えであります。来年度については、約10回ほどの会議を見込んでおりますが、主には外部委員の方々の会議出席の際の謝礼と費用弁償、また打ち合わせの際の旅費といったところを予算計上したところでございます。検討委員会では、児童生徒にとってより良い環境を整備して、新しい時代の学びを実現するための学校施設としての基本構想、基本計画の策定を進めていきたいというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

この委員の構成については、どのような形で選出されておりますか、お伺いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

委員の構成というようなことでしょうか。それについては、教育委員会のほうとして、委嘱をして選任していきたいというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

今後の推進計画の中で、統合小・中学校の基本構想策定というようなことになっております。これは小中学校建設検討委員会が基本構想をそのまま策定していくのかというようなことをお尋ねいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

検討委員会の中で、これからの学校施設としてはどういった学校施設が望ましいか、いろいろと意見をいただきながら、基本構想を策定していきたいというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

その今後の推進計画の中で、小学校建設場所の決定というようなことになっております。3年度、学園構想の資料などを作成する事業がありました。この資料もできていると思いますけれども、どの時点でこれを

活用されていくかをお尋ねいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

現在、学校候補地のほうの資料作成について担当課のほうで進めているわけでありましてけれども、これについては、来年度、検討委員会の中で、まずは本市の子どもたちにとってより良い環境を整備して、新しい時代の学びを実現するためにどういった学校施設が望ましいのかといったところを、いろいろと話し合っていきたいというふうに考えております。どういった学校が望ましいかという考えをもって、その後、その学校施設を整備する上で、その候補地の中で、どういった場所が望ましいのかというようなところを、いろいろと各候補地比較検討しながら評価して進めていきたいというふうに考えております。その中で、その資料についても活用していきたいというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

やはり、令和3年度にずっと調査はされたわけなんですけれども、まあ5箇所ほどですか、この中でいろいろな評価が出ていると思います。この小学校建設場所、これに将来中学校を併設するような方向ということでありましたので、この用地については昨日もありましたけれども、どれほどの用地、7haと聞いておりますけれども、確保する予定なのかをお尋ねいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

今後確保していく用地として、面積とのご質問ですが、学園構想といたしましては、小学校、中学校、また保育園も含めた一体的な整備を今後進めていく考えであります。そういった中で、やはりそういった施設を整備する上では、7ha～8haの面積というのが必要であろうというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

今、いろいろな世界情勢があります。コロナという関係もありますし、またウクライナの戦争というようなことありまして、いろいろ今の資材、部材は、世界から回ってきているような感じだと思います。資材、

部材の入荷が心配される中で、やはり令和9年度、確実なる開校にいたれるようにしてほしいなと思いますけれども、ゆとりある計画になっておりますかどうか、再度お尋ねしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

統合小学校の開校については、基本方針のほうでもお示ししたとおり、令和9年度の開校を目指して進めていく考えであります。それに向けてどういった形で進めていくかについても、基本方針のほうでお示しておりますけれども、そのスケジュールをまずスムーズに進めながら、9年度開校に向けて取り組んでいきたいというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

先だっの資料いただきましたけれども、これまで実施されました各小学校では、楯岡小学校は建設に4年くらいかかっていると、小国小学校では3年くらいかかっていると、神町小学校は2年ぐらいのというようなことで出されております。ぜひ9年度開校というようなことに向かって、やっぱり全力で取り組んでいただきたいのと、このように思うところでございます。

次に移ります。説明資料のNo.67、21ページでございます。ふるさと偉人マンガ製作活用事業というようなことで、300万円を計上しております。郷土の偉人を学ぶ取り組みは、道徳などの授業で大いに期待できると思いますけれども、どのような方法でマンガ製作にあたるのかをお尋ねいたしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

今この事業に関しては、申し込みをしている段階でするので、現時点の計画についてお話しさせていただきたいと思います。事業採択がいただけた場合については、まず準備委員会を立ち上げたいと思っております。新年度になりましたら、これをベースにしながら教育委員会、それから市の関係課、有識者等により検討委員会を立ち上げたいと思っております。それを基にしながら、その後作業部会として、資料収集、それから内容の検討、原作を作るというような作業になってまいります。その後、偉人マンガの製作というふうになりますけれども、漫画家またはその準ずる方々に作画を依頼するというふうな手順で考えているところであ

ります。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

やはり、手順としては、準備委員会、検討委員会、そして漫画の作業部会というようなことになっていくんだというようなことで、年度中の完成というようなことを見込んでいらっしゃると思いますかどうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

期限のほうも実は1年間というようなことで限られておりますので、できるだけ最初のほうを詰めた計画を基にして考えております。あと1人の漫画家で厳しい場合については、例えば地域の方または大学生等の協力を得ながら、オムニバス形式、分担しながら作るような作成についても少し考慮していただければならないかというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

この事業ですが、下段のほうにB&G財団助成事業となっております。これは、予算面での支援でありましょうか、お尋ねいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

仰るとおりでございます。こちらのほうでこの事業を活用したいというふうな事業について、内容を検討しながら300万円の予算をつけていただけるかどうかを検討していただけるというふうな事業となっております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

300万円というような形で、10分の10というような形だと思いますけれども、これについてもできるだけそのように努力していただければとこのように思います。先ほど大学のほうへというようなこともありました。こういうマンガとかイラストとか、そういうような関係については、やはり専門的に学んでいる芸工大とかもあるのでしょうかと思っているんですけれども、また本市の元地域おこし協力隊でありました古瀬しおりさんとか、大変マンガの要素のイラストとかも描いてくださいましたので、そういう方にも手伝ってはも

らったらどうかなどは、私もちょっと感じているところでございますけれども、その辺いかがでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

こちらのほうでもいくつか案をもって考えているところなんですけれども、プロの方はプロの方で本業のほうも抱えていらっしゃるの、そういったところのバランスを取る必要もあるのかなと思っています。ですから先ほど申し上げましたように、もしかしたら複数の方をお願いするような形で進めていくことも一つ選択肢として考えていかなければならないかなというふうに考えているところです。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

学校のほうで、授業等で活用するというようなことであります。ぜひでき上がった際は、学校だけの活用にとどまらず、例えば尾花沢の伝統文化、これは花笠踊りの発祥地というようにことになりますので、ここに書かれている高宮さんであればそういう方向かなと、あるいは観光などにも活用できるのではないかなと、このように思います。やはりふるさと尾花沢の偉人の方に、子どもの時代に触れ合うことができるというようなことは、その子どもたちの豊かな感受性、その感受性を良好に、大志といいますか希望を抱かせることにつながっていくのではないかなと思いますので、十二分に活用していただきたいなと思います。

では次に移ります。説明資料のNo.153、35ページです。地域おこし協力隊事業1,895万9,000円であります。この予算の積算内容と財源内訳について、一人当たりどれぐらいになるのかについてお尋ねしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

お答えいたします。協力隊一人あたりの積算内容とその財源についてでありますけれども、まず大きく二つに分けられます。

まず、隊員の報酬ですとか手当にあたる部分ですけれども、これにつきましては、一人当たり233万2,000円の予算となっております。これに対して特別交付税措置としましては、280万円が上限となっております。また、その他活動に要する経費としまして、レンタカー代ですとかガソリン代などが挙げられますけれ

ども、これにつきましては、338万1,000円の予算額となっております。これに対して、特別交付税措置が200万円上限となっております。合計しますと隊員一人当たり571万3,000円の予算額となっております。特別交付税措置令和4年度につきましては、480万円が上限となっております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

このたびの予算計上にあたりましては、隊員3名分とお聞きしておりますが、これでよろしいのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

こちらに挙げております予算につきましては、3名分となっております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

予定されている隊員の従事される分野というようにことで、このたびは、グースカフェとそば振興隊員とのことであります。グースカフェについては3月。そして、そば振興隊員には4月の予定というようにことで、あとそうすると3名でありますので、残り1名の隊員の分野についてはどうなるのでしょうか、お伺いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

No.153に計上している協力隊につきましては、まずそば振興に係る協力隊員が1名、徳良湖花畑造成プロジェクトを手がける協力隊が1名、あと市長の施政方針にありましており、徳良湖ヨットクラブによる青少年育成や北村山高校ヨット部の指導に従事しながら徳良湖の新たな魅力を発信していく協力隊3名を予定しております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員

これからも、花畑隊員とか、ヨット隊員というようにことで、募集をかけていらっしゃるというようなことだと思います。その都度、当初予算については、足りなくなったとすれば、やはり補正を組みながら対応していくというようなことでよろしいのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）
お答えします。予算が足りなくなったら補正でっていうようなことでありますけれども、そのような対応を取りたいと考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
菅野修一委員。

◎菅 野 修 一 委員
地域おこし協力隊の事業につきましては、やはり国のほうで交付税算入というようなことで、半額程度来ると思っています。そんな中で、やはり本市に若い人を呼び込むすばらしい事業だなと捉えております。まだまだ本市においては、足りていない分野、農業分野においても林業分野においても、鳥獣対策分野などにも若い力を呼んでもらいたいなど、このように我々も思っているわけなんですけれども、今後そのようなことであれば、やはりぜひ前向きに隊員を募集していつでもいいかなと、このように思うところでございますが、いかがでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）
お答えいたします。私も地域おこし協力隊の制度を活用し、都市部から若い力を、若い人を呼び込むことについては賛同しておりますので、今後とも市の重要課題につきましては、協力隊の募集を積極的に進めていきたいと考えております。

◎菅 野 修 一 委員
終わります。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
以上で、令和クラブの質疑を打ち切ります。ここで、昼食のため午後1時10分まで休憩いたします。

休 憩 午後0時11分
再 開 午後1時10分

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
再開いたします。

次に、会派に属さない議員の質疑を許します。まず、菅野喜昭委員の質疑を許します。菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員
それでは私は、主に説明資料に基づきまして質疑させていただきます。一般質問と先ほどの総括質疑と若干重複する部分がございますけれども、ニュアンスが

少し違いますので、重複をいわず質疑させていただきます。

まず説明資料の31ページ、ナンバー125、8款4項1目、予算書116ページですね、この尾花沢インターチェンジ周辺施設整備概況調査事業でございますけれども、これについて、現段階で結構ですので、周辺整備の規模、その内容とはいかがなものでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）
お答えいたします。尾花沢IC周辺施設整備概況調査事業になります。予算につきましては、業務委託ということで、50万円計上しております。尾花沢IC周辺につきましては、本年度完成予定であります都市計画マスタープランにおいて、新たな拠点整備について検討していくとしております。本事業につきましては、東北中央自動車道のほうが令和4年度で首都圏まで開通します。それに伴って、大きくものの動きですとか、人の流れがダイナミックに変わってきます。それに伴い、やはり当市のほうでも、道の駅を含めた新たな施設整備を検討する必要があるというふうなことで、今回周辺の土地の法規制や、あとは施設の規模等、内容等について調査をするということで、概略の概略の調査費を計上させていただきました。そして施設の規模でありますとか内容等につきましては、今後その調査の中で、ある程度決定していきたいというふうに考えております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員
令和4年度につきましては、この50万円をもって、それ以降に作るであろうインターチェンジ周辺施設のとりあえず規模、内容について、その一部をするということで、承っております。大変良いものができるというふうなふうに思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、同じく32ページの131番、これも重複しますが、まちなか空き家再生事業についてでございますけれども、この中心市街地にある不良住宅と、中心市街地ということで郡部ではないということだと思いますけれども、それを対象にしているということでございますけれども、これももう現段階で結構ですので、具体的なこの場所、中心市街地も結構広いので、だいたいこの辺とかいうその場所ですね、具体的な場所、しかもその一軒家なのか、少しもう少

し、先ほど言っていた1軒ということで、ちらっと聞きましたけれども、その規模につきましても現段階で結構ですので、教えていただきたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

お答えいたします。まちなか空き家再生事業になります。こちらの事業につきましては、不良住宅解体により、安心安全な居住環境の整備と、空き家跡地の活用によります市街地の活性化を図る目的の事業であります。事業内容につきましては、市において所有者のほうから、その建物と土地の寄附を受けまして、市のほうで解体を実施します。その後、跡地を宅地として分譲していく事業であります。解体費の予算につきましては、工事費200万円と、あとは実施場所等決まったあと、県の住宅供給公社のほうと連携した形の実施になりますので、公社負担金分ということで202万7,000円、予算として計上しております。

対象区域につきましては、今、立地適正化計画の中で定めております居住誘導区域内ということでの場所を想定しております。具体的な場所というのは、今後事業を進めていく上で、さまざま来段階で決定していく形になるかと思っております。あと規模等につきましては、そちらの部分も、先ほどと同じように1軒というふうなことで計画しております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員

ちょっとですね、聞き慣れない言葉なんですけれども、居住誘導区域内ということだったんですけれども、その居住誘導区域というのは、どの辺を指すんでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

主にですね、立地適正化計画の中で、図面で指している青色の区域になります。本町内というふうなことで、想定はしております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員

私も調べておきます。それとですね、先ほどこの事業費ですかね、402万7,000円、市のほうで200万円と県のほうの負担金と言われましたけれども、それ県のほうに支払うやつを言うんですね。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

お答えいたします。事業の場所等、決定した段階で山形県の住宅供給公社のほうと連携した対応になります。どういうふうな業務を公社さんのほうで行っていただくかというのはこれからなんですけれども、公社のほうで実施した分に対する、市のほうからその分負担金として支出する予算であります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員

負担というのは、どういう負担なんですかね。市のほうで200万円ですぐに更地にしまして、県のその公社のほうにやると。その負担金が200何万円と、その負担というのは何を指している負担金なんでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

例えば整地、そちらのほうを更地にする場合は、県の住宅公社さんのほうでやったりですとか、あと所有権の登記等のほうを例えば公社さんのほうに委託してやっている場合、そちらの経費について市のほうでそれ相応の負担を行うということでの実質の予算になります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員

分かりました。良い場所に作ってですね、移住していただけるように願っております。

次に進みます。同じく32ページ、これも重複しますが、ナンバ134、新エネルギー設備導入補助金ということでありますけれども、ゼロカーボンの件でSDG sも絡んでくるのかなと思いますけれども、私お聞きしたいのは、1番下に令和4年度から、蓄電池を対象に追加されるということでもありますけれども。蓄電池のほうは、県のほうで今年度までは補助金出ますけれども、しかしながらその制約がありまして、山形県内の業者でないと補助金は出ないということであってですね、この市のほうで負担してくれるというのは、ゼロカーボンシティ宣言した市としては非常によろしいかと思います。その補助内容について、分かる範囲で結構ですので教えてください。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

蓄電池に関する内容でありますけれども、蓄電池につきましては、太陽光発電に付随する蓄電池を対象としたところでございます。さらに対象製品でありますけれども、こちらのほうは、国がさまざまな補助事業をしているわけですが、その中で、製品を対象製品として指定しているものがございしますので、こちらと同等のものということで考えております。それから設備業者さんであります、特に市外、県外だから該当ならないということは、今現在考えてはおりません。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員

今の段階でもしお分かりであれば、その補助内容ですか、金額、分かるのであれば教えていただきたいというふうに思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

蓄電池の補助金の額であります、1kwあたり2万円以上10万円以下とさせていただいたところであります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員

だいたい蓄電池というのは、少なくとも5kw、多いと15kwぐらいを指すものだと思いますけれども、このぐらいの補助金をいただくと非常にありがたいなと思います。ぜひ、よろしく願いいたしたいと思います。

続きまして、33ページ、これも大変申し訳なく、何回も質問になりますけれども、その浄化槽の件でございます。非常に私勉強するんですけれども、なかなか覚えられなくてですね、このナンバー137と138、これ一緒ですけどね、浄化槽設置整備事業、これ一般地区ですね、この137、その下は指定地区浄化槽設置事業、ちょっと言葉が違うんですけど、指定地区だと思っておりますけれどもね、これの一般地区と指定地区の定義と、その補助率の差ですね。それをどういうふうに区分しているのか。もう一度それについてお聞きしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

浄化槽の補助金であります。尾花沢市内の中には、

下水道区域、それから農業集落排水区域がございます。それ以外が浄化槽の補助金の区域となります。浄化槽補助金につきましては、一般地区と指定地区があるわけですが、指定地区につきましては、地区の皆さんがまとまって、8割以上の合併浄化槽整備の同意があった場合指定地区として指定しまして、補助金を増額するものであります。それ以外が一般地区ということで、下水道、農業集落排水区域、それから浄化槽の指定地区を除いた地区が、一般地区となります。

指定地区のほう具体的に申しますと、指定から5年以内に整備することとしまして、平成14年より始まったものでございます。補助金の額でありますけれども、一般地区5人槽の場合であります、一般地区では29万1,000円、指定地区では60万円ということで、指定地区のほうが増額したものでしているものであります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委員

指定地区につきましては、ある地区の8割以上が賛同して、「じゃあやろうか」というところを指定地区と。一般地区はそれ以外の地区であって、浄化槽を設置しようとするところのことをというということで、補助金につきましては指定地区は60万円、一般地区は29万円ということで、その差というかですね、その指定地区を決めることと、そうでないことと。というのは、見直しする時期にも来ているのかなということも含めましてですね、予算の関係もあると思いますけれども、指定地区は60万円で、一般地区というのは、まだ指定地区に指定されていないところで、指定地区に指定されて、そこでやらなかったところはもう補助金が出ないということだったんですね、前回は。そうすればですね、一般地区が29万円で、極端なことを言うと、60万円にはできないのかなと。そうするともう少し、どんどんどんどんこう合併浄化槽にして、環境衛生上非常に良くなるんじゃないかと私思うんですけれども、その辺はどのようにお考えですかね。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

指定地区が増額になっている件につきましては、地域でまとまった場合増額するというもので、地域全体がきれいになることを促進するというもので、一般地区よりは増額したものとなっているものでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委 員

制度上、県のほうの補助もあるんでしょから、それ全体的に見直さなければならぬ。ならなければ市単独では、なかなかどうこうというふうにはいかないと思います。

それに付随しまして、この説明資料にはないんですけども、予算書の88ページに、一般地区、指定地区の下に、浄化槽整備促進事業費補助金ということが書かれていましてですね、この補助金について、この補助金の対象となるもの、それからその補助金事業費の内訳についてお願いしたいなと。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

浄化槽整備促進事業費補助金の内容でありますけれども、これにつきましては、一般地区の補助を受けるもののうち、汲み取りまたは単独浄化槽を廃止して、合併浄化槽を整備する場合に限りまして、補助金を上乘せするものであります。こちらは県の補助金が財源となっているものでございます。金額につきましては、5人槽で上限を16万円、6人槽以上を20万円とするもので、予算額を188万円としまして、おおむね10基程度見込んだものでございます。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委 員

今のはちょっと、先ほどのと合わせますと、一般地区の家庭において、汲み取り式、または単独槽を合併浄化槽に変える時の補助金が、5人槽ですと16万円と、6人槽以上になると20万円ということで、そうしましたら、その対象となれば、一般地区のものも、この促進補助金を加えれば、だいたい40万円か45～6万円になるということでよろしいんでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

菅野委員、仰るとおりでございます。5人槽で言いますと、29万1,000円にこの促進事業ということで16万円がプラスになるということでございます。ただあくまでも、汲み取りからの切り替え、それから単独からの切り替えということでございます。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

菅野喜昭委員。

◎菅 野 喜 昭 委 員

分かりました。一般地区で、促進事業の補助金も含めると、だいたい指定地区の60万円にほぼ近くなるんだなということで分かりましたけれども、できれば、指定地区のような補助金をいただければ、もう少しどんどんと環境衛生上よろしくなるような、やはり合併槽が進んでいくのかなと私は思います。

以上で少々早いですけれど、終わります。ありがとうございました。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

以上で、菅野喜昭委員の質疑を打ち切ります。

次に、和田哲委員の質疑を許します。和田哲委員。

◎和 田 哲 委 員

引き続き、よろしくお願ひしたいと思います。私のほうからは、予算書142ページ、10款4項2目18節、負担金、補助金及び交付金のうち、ワーク・ライフ・バランス実践企業支援奨励金についてお尋ねしたいと思います。こちらの事業でありますけれども、こちらの事業は令和3年度から開始しまして、来年度2年目に突入するということであります。来年度も継続して、ワーク・ライフ・バランスの社会の実現を後押ししていくということで、継続と私は捉えておりますけれども、2年目に突入するということでありまして、実践してみてもの1年目の感触といいますか、実績見込みや、あとは利用者の評判等ございましたら教えていただきたいなと思います。よろしくお願ひします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴 木 敏 君）

ワーク・ライフ・バランス実践企業支援奨励金でございますけれども、今年度1年目ということでございまして、実績といたしましては、1件、奨励金のほう交付しているところでございます。また、今月中に申請予定ということで、もう1件さらに申請予定のところがございます。

感触といいますか、今年度につきましては、山形イクボス同盟に加盟している企業さんを中心に回ったところでございますけれども、やはり男性の育休の取得の促進ですとか、また女性の管理職登用などについても、企業のほうからといいますか、社内のほうでさらに働きかけていきたいということのお声のほうも各企業さんのほうからいただいておりますのでございます。

今後につきましても、さらに8社以外の企業さんについても、事業周知のほう図っていききたいなというふうに考えているところです。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和田 哲 委員

もうすでに1件利用していただいていると。そして今年度中もう1件見込まれているということで、こういった取り組みの輪がやっぱり広がっていったらいいなと思っております。やはりこの取り組みを知っていただくためには、こういった周知の方法をしていったらいいのかなと、私考えるとところがあるんですけども、やはり社会教育課として、社会をつくるという観点で、今事業していってほしいんですけども、やはりこの企業さんであったり、法人さんであったり、利用される方が対象がそういった企業等がメインということもありまして、やはりですね、ぜひ来年度に関しては、尾花沢の企業振興室や商工観光課あたりと連携しながら、周知を図っていただきたいなと思うんですが、今、ご答弁いただきました、令和3年度の実績等もふまえて、令和4年度の取り組みのポイントなどございましたら教えていただきたいなと思います。お願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴木 敏 君）

今年度につきましては、企業懇談会総会などでチラシなどを配布しながら、事業PRを行ったほか、先ほども申しましたけれども、イクボス同盟加入の企業を中心に奨励金の説明を行って、企業のほう回らせていただきまして説明のほうを行ってきたところです。先ほども申しましたけれども、来年度はそのイクボス同盟以外の企業も広く含めて、さらにそれ以上の企業も含めて、あとは商工観光課の企業振興室と連携しながら、さらに多くの企業から賛同してもらえるように、周知のほう図っていききたいというふうに考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和田 哲 委員

ぜひよろしくお願いいたします。この事業の目的はですね、対象は企業の方が多いということでもありますけれども、やはり仕事と家庭の両立支援、そして女性の活躍の推進を後押ししていく、そういった社会を作っていくというような目的で今年度スタートしております。それで、この取り組みなんですけれども、尾花沢市第7次総合振興計画がスタートいたしまして、基本構想ということで、5つの柱を立てながら、尾花沢のまちづくりを作っていくということで、今まさに

前進している最中だと思います。このワーク・ライフ・バランスでありますけれども、基本構想の5つの柱の中で、事業予算書の中にも再掲載ということで、確認取れますけれども、3つの柱の側面がある事業であると思います。5つの尾花沢の柱の中でもですね、キラリと光る産業のまちと、ふるさと愛を育むまち、あとは笑顔の花咲く交流と協働のまち、この3つの柱に該当している事業であります。ぜひですね、社会を作りながら、企業の方々にもぜひ利用していただいて、何より現場のほうまで行き届くような取り組みを後押ししていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

次の質問に移りたいと思います。そのまま予算書142ページです。18節、負担金、補助及び交付金のうち、分館等整備費補助金についてお尋ねいたします。予算説明書は23ページになります。23ページ、ナンバー82、集落公民館整備事業ということで、こちらは午前中、安井委員のほうから質疑がありまして、対象と、あとは補助率と上限について、先ほどご答弁いただきましたので、こちらに関しては割愛させていただきたいと思いますが、このたび、新規事業ということで拡充されております。既に今、新築であったり耐震工事等の事業に対して補助金を交付する制度となっておりますが、イメージとしては、既存の集落公民館にエアコンだけを設置する場合には、この補助金ですぐ申請できると思うんですけども、新たに新築をするよといった場合に、今の要綱の中にですね、このエアコンの補助というのは、どのように組み込まれてくるのでしょうか。お願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴木 敏 君）

お答えいたします。考え方ですけども、既存の新築の場合ですと5分の3補助で、限度額600万円となっております。また改修であります10分の7で、限度額200万円となっております。エアコンにつきましては、上限20万円の7割ということで考えておりますので、新築など、改修などとは別枠という形で考えているところでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和田 哲 委員

非常にありがたい拡充だなと思っています。この集落公民館になりますけれども、やはり尾花沢市全体的には、非常に老朽化が進んできている集落公民館等ご

ざいます。私も北町地区民として、公民館をよく利用しますが、夏は暑くて、扇風機かけたり、汗流しながら、冬は寒くて、ストーブつけたりとやっております。その快適さも改善できるかなと思うと同時にですね、最近では、災害等で一時避難所として利用されている側面もございます。ぜひこのエアコン設置事業、十分に利用していただけるようにですね、周知等よろしくお願いしたいなと思います。こちらの負担金、補助及び交付金については以上にします。

次の質疑に移ります。予算説明資料の4ページ、5ページをもって質疑させていただきます。歳出の11款、投資的事業費についてお尋ねしたいと思います。投資的事業費のうち、徳良湖に関する投資的な観点から質疑させていただきたいと思います。先ほど星川委員のほうから、質疑ありまして、すごい内容の濃い議論がされたかなと思っております。重複するところもあるかと思いますが、投資的な視点ということで、また改めて質疑させていただきたいと思います。

令和3年度徳良湖周辺施設整備事業と基幹集落センター、徳良湖自然研修センターリニューアルと、昨年場合は3,000万円を投資して、先ほど市長からございました、「徳良湖を花で飾っていくんだ」と、そしていろんな人に足を運んでいただきたいんだというような投資を行っておりますが、本年度に関しては、一旦花畑ではなく、3つの項目の投資を行っていききたいというような予算になっております。一旦花畑は中止して、そして今の既存の施設をリニューアルというような方向だと思いますが、昨年と今年で、投資的ビジョンといいますか、どういったビジョンをお持ちでこういった予算になっているのか、お尋ねしたいと思います。お願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。令和3年度につきまして、仰るとおり花畑のほうに投資なっていたわけですが、先ほど星川委員の答弁にもお答えしたとおり、その予算を令和4年度に繰り越しをお願いし、令和4年度についても、継続的な事業を展開してまいりたいと、花畑については思っております。

それと先ほど申しました3つの事業ということで、徳良湖周辺施設整備事業、あと基幹集落センター屋内遊戯場整備事業と自然研修センターリニューアル事業というふうなことを、今年度合わせてやっていきたいと考えてございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

このたびは、花畑は繰り越しということで、今年度予算の繰り越しになっていたと思います。やはり徳良湖がどうなっていくのかなと。すごい私は希望を持っているんですけれども、まず花畑造成工事の3,000万円ということで、令和3年度は投資いたしました。このあと、こういったいろんな施設も整備をしていくんですけれども、昨年、令和3年度の投資した3,000万円というのは、地方債を起債しての予算になっているかと思います。こちらの地方債の償還ということも、維持費として考えていかなければならないのかなと思うんですけれども、令和4年度の今年以降、この花畑造成工事に関わる地方債の償還予定というのは、どのようになっているのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
財政課長。

◎財政課長（本 間 純 君）

起債の償還というふうなご質問、花畑というふうなことでのご質問をいただきましたので、お答えいたしますけれども、令和3年度の花畑造成工事にかかります事業費といたしましては、先ほどありましたように3,000万円というふうなことで、こちら過疎債を充当する予定で計画してございます。過疎債でございますので、償還につきましては、12年のうち3年が据え置きというふうなことで、利子分を除けば3,000万円割る9というふうなことで、だいたい340万円ほどが償還しなければならない公債費というふうになるかと思えます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

過疎債を充当してということでございます。今尾花沢市は、令和3年度、今年度から、尾花沢市過疎地域持続的発展計画というのを計画されております。この中でですね、徳良湖に関する事業でありますけれども、花畑造成工事だけを切り取って申し上げますと、令和3年度に2,600万円と計上されております。令和3年から令和7年までこれぐらいお金を使っていくよというような表になっておりますけれども、令和4年以降は、全くゼロ円ですね。令和3年まで2,600万円で、今年はゼロ円です。来年度以降もゼロ円なんですけれども、先ほど890万円のうちの790万円相当の事業について、ご答弁いただきましたけれども、この花畑造成

工事、この過疎地域持続的発展計画にも記載されてお
りませんし、どのようになっていくのかなと。今年度、
どのような取り組みを行っていくのかなと、大変気にな
っております。分かる範囲で、お答えできる範囲で
あればご答弁いただきたいなと思います。お願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

総合政策課長。

◎総合政策課長（永 沢 晃 君）

過疎計画、今年度策定されております。この中では、
工事に着手する年度の部分について、まず工事費を持
って取り扱ってるというふうな基準でありました。そ
の中で、継続しているような工事ですつといくとすれ
ば、それは3ヵ年とかというふうな形で、継続して借
りているというふうな形で、今回計画の付属資料とい
うことで、本当の計画には、そこまで盛る必要はなく
て、あくまでも付属資料として、皆さんのほうに見や
すくお示しするための、各課で今後、うちのほうで抑
えております5ヵ年計画の中身について、そこに記載
しているというふうな形になります。ですから、付属
資料については、償還の部分について、継続して触れ
ていくような形でなくて、工事等に着手する期間のお
およそを皆さんのほうにお示ししてというふうな形に
なります。それを基に、今後の計画全てが入っている
かということ、そうでないというふうな形で、過疎計画
には、その項目だけは必要なだけけれども、その付属
資料については、過疎計画の中の計画の付属資料とい
うふうな形で見ていただければというふうに思ってい
ました。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

さまざまな計画がありまして、ちょっとこの過疎の
計画だけで、私申し上げているんですけれども、着手
する段階の予算を、だいたいこれぐらいだろうという
ことで、先の見通しを立てているという観点から、今
回ですね、研修センターのリニューアルを考えており
ます。こちらの基幹集落センターと自然研修センター
リニューアル事業は、着手する段階ということで、こ
の計画どおりではないということでもありますけれども、
今回コワーキングスペースということで、先ほど質疑
ありました。こちらは令和6年の段階で5,000万円ぐ
らいを見据えていると。今年度に関しては、ゼロ円で
す。来年度300万円ほどかけて、令和6年に大きくリ
ニューアルすると。確かに徳良湖マスタープランと

いう中で、こちらはマスタープランの中に、こういっ
たリニューアルも必要だねというような民意が反映さ
れている計画です。その先どうするかというのは、ま
だ議論されていないんですけれども、おそらくマスタ
ープランの中に参加された方々がリニューアルするイ
メージというのは、おそらく違ったのかなと。マスタ
ープラン、手元にございますけれども、リニューアル
をするための目的といいますか、そのそういった意見
が出た背景というのは、子どもたちが宿舎とかするけ
れども、老朽化しているというようなものが、このマ
スタープランに反映、文言に記載されている背景にあ
るかでございます。

今回、この計画でいくと、前倒しして、そして先ほ
ど副市長からございましたコワーキングスペースを基
幹集落センターに作る。財源に関しても、国庫補助金
を使って、550万円ですか、国庫補助金を使って施設
を考えていきたいんだということでもあります。なぜこ
の前倒しして、この国庫補助金を使ってやらなくちゃ
いけないのか。そしてどんな国庫補助金を使って施設
を考えてらっしゃるのか。その2つについてお尋ねし
たいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

商工観光課長。

◎商工観光課長（間 宮 康 介 君）

お答えいたします。この2階ロビー、コワーキング
スペースの改修、あとWi-Fi機能とLED化という
ことで、大きく予定しているわけですが、先ほ
ども少し申しましたけれども、このコロナ禍におきま
して、働き方改革、またこの新生活様式の1つとして、
このテレワーク環境の整備というふうな部分など、こ
れからの利用者に向けた利便性の向上などを図ってい
くものに、このコロナ対策の交付金を予定している
ところでございます。以上でございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

この国庫補助もコロナ対策ということで、やはりこ
の徳良湖がどこに向かっていくのかと。やはりこの今
回大きい金額を抱えています花畑造成工事も含めてで
すね、今年度は今年度の事業をやりながら、ぜひ来年
度以降に向けて、どういった取り組みをしていったら
いいのかというような取りまとめ、そしてある程度
ビジョンも見える化していただきたいなと思います。
たぶんおそらく、この質問すると30分じゃ足りなくな
るので、一旦ここで終わりたいと思います。

それでは次の質疑に移ります。予算書52ページお願いしています。説明資料につきましては28ページです。このたび、路線バスを購入されるということであります。路線バスをこのたび購入される詳細についてお尋ねしたいと思いますが、台数と、あとはどういったバスを買われるか、仕様と、あとは納入時期予定についてもお尋ねしたいと思います。よろしくお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

市民税務課長。

◎市民税務課長（菅 原 幸 雄 君）

路線バス購入事業の内容であります。路線については、大石田駅通学線のバスです。台数については1台、仕様については45人乗りということで、中型バスになります。補助席7、乗務員1名も含めた45人乗りになります。納入時期ですけれども、3ヵ月から4ヵ月くらいかかるということでしたので、4月、5月連休明けぐらいの発注になれば、8月以降になるのかなと考えております。ただコロナ禍ですとか、ウクライナの情勢等々、なかなかこう不安定な要素がありますので、その辺はちょっと心配だなと考えております。以上になります。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

このたび、今年度ですね、新しく大石田駅と尾花沢市役所を結ぶバス、大変好評であります。かなりの実績も見込まれるかなと思われます。来年度も引き続き、今度は年間通じて運行するので、もっともっと利用が伸びてくるのかなと思われます。私はせっかくなので、路線バス購入、路線バス今編成されていらっしやいますよね。納入も8月以降ということであります。今のこの路線バスを見ると、私のちょっと私見になりますが、今回の路線バスも、天気良い時に見ると、青だか紫だか分からなくて、なんかデザインも、どうせこの路線バスを編成して、その取り組みの一環として路線バスも購入するのであれば、やはりそういったラッピングまではいきませんけれども、ある程度、雪国の中でも見えるようなデザインを心がけてみたり、あるいは市内企業さんや、市外でもいいですね、企業さんのスポンサーを募ったりですね、そういった、せっかく45人という、尾花沢の中で1番こう利用されるバスでありますので、そういったことも含めて、検討することは可能かなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

市民税務課長。

◎市民税務課長（菅 原 幸 雄 君）

前向きなアイデア、ありがとうございます。こちらとしても積極的に検討してまいりたいと考えています。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

よろしくお願いします。運行なんですけれども、今回バスを購入して、先日の塩原議員の一般質問の中でもありましたが、9時台の運行をされるということであります。なかなか人数が多くないのかなと思うんですけれども、ぜひこの辺も併せてですね、運行よろしくお願ひしたいなと思います。路線バスに関しては、以上にしたいと思います。

最後の質疑になりますけれども、説明資料34ページお願いします。ナンバー146番、ポンプ格納庫設置事業についてお尋ねしたいと思います。こちらは新町と臈気、毒沢、3つのポンプ小屋を更新するということでありますけれども、着工時期はいつぐらいから予定されていらっしやるのかお尋ねしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

消防署長。

◎消防署長（折 原 幸 二 君）

お答えをいたします。着工時期についてですけれども、例年6月ごろに設計業務委託を締結しまして、8月ごろに工事請負業務の締結を行って、場所によっては工期かかる場合もありますけれども、工期については2ヵ月から3ヵ月を見ております。雪降る前に完成させたいと考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

6月ぐらいから実際に動いていくということであります。設置する予定地についてなんですけれども、基本的には、今のポンプの更新でありますので、同じ場所に建て替えるのが基本になるのかなと思われるんですけれども、やはり地域によっては、そのポンプ自体が何十年前にも建てられたものであれば、周りの地域で変わってきていますね。家ができたり、道路ができたり。やはり今の場所のままでいいのか。あるいはその地域にあった新たな場所を、選定することが可能なのか。やはり、例えば十字路とかに建ててしましますと、すごい交差点の見通しが悪くなるような箇所もあります。地域、地域によって適した場所があるのか

なという観点と、あとは建物も、建物の場所も地域も変わってきていますので、その消防力の強化というような2つの観点からですね、ぜひ地元の消防団と、そして地域の方々の意見も取り入れながら、新たな場所を選定していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
消防署長。

◎消防署長（折 原 幸 二 君）

今回3つの場所に設置を予定しておりますけれども、毒沢地区につきましては、これまで民家の普通の車庫をお借りして、今ポンプを置いているような状況であります。毒沢地区につきましては、水害等のことも考えなければならない地区でありますので、地元、地区民、区長さんはじめ、地元の消防団ともよく話し合まして、設置場所については、しっかりと検討していきたいと思っております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
和田哲委員。

◎和 田 哲 委員

6月ごろまでを目途にですね、地域の方々と、そして地域の消防団の方々とそういった話し合いを重ねながら、消防力の強化に今後とも引き続きよろしく願いまして、総括質疑を終わります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
以上で、和田哲委員の質疑を打ち切ります。
ここで、10分間休憩いたします。

休 憩 午後2時01分
再 開 午後2時11分

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
再開いたします。
次に鈴木清委員の質疑を許します。鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

私の質問は6つであります。全て説明資料からなので、よろしくお願いいたします。

1つ目は10ページ、ナンバー2のふるさと尾花沢応援基金事業についてですけれども、尾花沢ファンを拡大する工夫、方法はどのように考えているかお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

お答えします。ふるさと納税制度を活用した尾花沢

ファンの拡大についてお答えさせていただきたいと思っています。今現在、寄附者に返礼品を送る際なんですけれども、単に返礼品を送るのではなく、例えば農作物であつたら、生産者の思いを綴ったメッセージなどを同封してございます。また今年度より、返信用はがきを同封し、感想やご意見を頂戴しているところです。また同じく今年度より、尾花沢市ふるさと納税のInstagramを始めておりまして、より身近に尾花沢を感じられるような工夫をしてございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

ありがとうございます。ただ返礼品を渡すのではなくてというのがみそなのかなと思っています。ファンクラブというのはいろいろありまして、芸能界でもいろいろあります。芸能界とごっちゃにしていけないと思いますけれども、ファンの段階があるのではないかなと私思っています。尾花沢のことをもっと知りたい、尾花沢に行ってみたい、尾花沢を応援したい、そういうふうな段階になってくると思います。それで私はちょっと、2年前でしたか、遠野市に行政調査に行きまして、遠野市のファンクラブの作り方を学んできました。遠野市のほうは、全国でファンクラブが何人いるかという人数と地図がありまして、納税だけでなくいろんな通信を発行しておりました。せっかく尾花沢のふるさと納税を利用していただいたのですから、関心ある人ばかりだと思いますので、その関心の度合いに合わせて、いろんな工夫をしていけばいいのかなと思っています。遠野のファンクラブの作り方は、市民制度の案内というのを入れているようです。別の組み立てになっているんですけれども、1,000円会費の商品と5,000円会費の商品と1万円の会費の商品がありまして、ちょこっと市民、のんびり市民、どっぷり市民というのがあります。そういうのでいろんな情報を流してやっていると。例えば移住情報がほしい方は移住情報がほしいと丸つけてもらって、そういうのを送っていくというふうなことで、ファンの作り方というのは、やはりいろいろ努力しなければならないのではないかなと思うんです。例えば市長のお手紙が入っているとか、あとは尾花沢のニュースが入っているとか、尾花沢の広報紙が入っているとか、いろんなこう通信が入っているといいのではないかなと。また利用している人の声もそこに載せて、今後の情報共有していくという仕方があるのではないかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）
ご紹介いただきましてありがとうございます。そういった例をどんどん研究しながら、より尾花沢のファンを増やしていくべく努力していきたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
鈴木清委員。

◎鈴木 清 委員
共通しているのは返信用のはがきというのを今教えていただいて、やっぱり心を通じ合うっていうのはあると思いますので、いろいろご研究していただきたいと思います。

次の質問になります。説明資料17ページ、ナンバー44です。若者地元回帰対策事業、ジモト大学についてです。昨年度のパフレット、こういうのを見せていただいて、私は自分の息子にも参加するように言って、ヨットの体験をしてきて、だいぶ喜んでおりました。今年はどうな企画を考えているか。そのジモト大学の意義は何か。「ジモト」と片仮名でする意図は何かなど、教えていただきたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）
まず来年度、どんな企画をしているかでありますけれども、令和3年度に実施しまして好評でありました徳良湖でのヨットであったり、北村山高校のそばガールズによる尾花沢そばに関するプログラムについては、引き続き続けていきたいと考えております。また現在、高校生に、今年度参加しての振り返りや、参加したいプログラムの希望等を聞き取っているところでございますので、今後、北村山高校とも協議しながら、内容については決定していきたいと考えております。

2つ目の意義でありますけれども、新庄・最上ジモト大学は、「高校生が旅立つ前に学ぶコト」をキャッチフレーズに、学校では学べない地域のヒト、モノ、コトを学び、地域の一員であるということを感じてもらい、地域で活躍するカッコいい大人との交流を通じて、地域への貢献意欲を育むことを目的とした事業となっております。

最後の質問ですけれども、「ジモト」と片仮名にする意図でありますけれども、平成29年度に新庄・最上ジモト大学がスタートしておりますが、その際、漢字で「地元」と書くと堅いイメージになるのではないかとということで、片仮名で「ジモト」としたほうが、高

校生に親しみやすいのではないかとということで、片仮名にしたというふうに聞いてございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
鈴木清委員。

◎鈴木 清 委員
漢字は堅いので「ジモト」と片仮名で、これパフレット見ますと、「ジモト」と口の動きも分かるようなパフレットで、本当に親しみやすいと思います。キャッチコピー、今教えていただきました。「高校生が旅立つ前に学ぶコト」これはすごい大きなテーマを投げかけられたなと思って、私の家の高校生が卒業して、東京に行くわけなんですけれども、何を学ばせたらいいかと、あなたは何かと言われたら迷います。自動車学校で免許を取って、その次のことをちゃんとやれと言ってるんですけれども、例えば高校生まで学んでいるSDGsという課題もあります。それから今起きている戦争について、どう考えていけばいいかというのも、学ぶ大きなテーマだと思います。そしてもう1つが、ふるさとのことをしっかり学んで、帰ってきた時に、その課題を自分が主体的にやっていくんだという気持ちにさせるというというのが、すばらしい考えだなと思います。私のことを考えれば、全く地元のことは考えないで、遠くに行きたいということばかりでしたけれども、それを考えさせる企画というのがすばらしい企画だなと思っています。これ以上質問することはあまりないんですけれども、イベントをいろいろ考えていただいて、イベントを考えるのも行政だけでなく、まちづくり団体、NPO、企業、市町村、私たちも入るのではないのかなと思います。議員も、北村山高校生をしっかりサポートして、どうしていくかというのは、考えなければいけない立場なんだなというふうに思うわけです。まちについては、商店街については、まちゼミというのが最近やられているようです。商店街の活性化のためにも、必要になるんだなというふうに思います。

もう一言余分なことを言いますと、ロシアの小説家のゴロッキーさんという人が、社会が大学なんだ、カレッジが大学ではなくて、社会に出て初めて学ぶことが大学なんだというふうなこと言っていて、そういうことを考えさせるすばらしい機会だと思いますので、研究して続けていただきたいと思います。

次の質問になります。18ページのナンバー48です。病児・病後児保育事業についてですけれども、昨日大類議員のほうからも質問がありましたので、少し省略して、昨日の質問では29人の登録者がいて、18人利用

だということでしたけれども、この事業予算の1,062万4,000円の内訳をちょっと知りたいのですけれども、よろしくお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

福祉課長。

◎福祉課長（吉 野 真 広 君）

内訳については、保育士、看護師等の報酬及び、この施設の使用料、こちらのほうとなっております、報酬については700万円程度で、使用料については180万円程度で、合わせて1,000万円を超えるくらいになっております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

たくさん利用者がいればいいという問題ではないというの、昨日からの議論でありました。看護師さんと保育士さんが1名ずつというふうなことに、たぶんなと思うんですけども、利用者が去年は4人で、今年が18人なので、14人増えてますけれども、稼働日数としては18人なので18日というふうになるんでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

福祉課長。

◎福祉課長（吉 野 真 広 君）

1日に2人利用する場合もありますので、必ずしも18日の稼働とはなりませんけれども、参考に申し上げますけれども、令和2年度につきましては、7月27日にオープン、昨日の答弁でもありましたとおり、今年度の利用は2月末の利用状況でありますので、率にしますと、登録者数については増えてはいるんですけども、利用率については減っているということで、これを鑑みますと、登録者数については横ばいで周知はほとんど変わらないんですけども、利用率がちょっと減っているということであれば、病気になる児童、園児の方が少ないというふうに捉えております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

病児・病後児保育事業というのは、急な病気があったり、回復期にあっても、安心して利用できる保育というふうのがテーマになると思います。利用者の数だけじゃないというのが、今の答弁でも分かりました。しかし登録者をやはり増やすべきではないかと。去年が18人で今年29人なので、11人増えていますが、

まだまだ登録だけはしておきたいというふうに保護者が思えるように、周知をしていただきたいと思います。

次です。20ページのナンバー59、学園構想推進事業についてですけども、先ほど菅野修一委員からも質問あったので、それ以外の質問を続けたいと思います。先ほど小中学校建設検討委員会のことが出ておりましたが、この112万5,000円の予算で、交通費、旅費というふうに説明が先ほどありましたけれども、これからの研修内容、どこかに視察に行くとするばどこに行こうと考えているか、ちょっとお尋ねしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

学園構想推進事業の予算についてでありますけれども、来年度112万5,000円というふうなことで、予算の内容といたしましては、検討委員会の委員というふうなことで外部委員約10名ほど考えておりますけれども、その方々が会議に出席した際の謝礼というふうなことで、報償費55万円と、会議に出席された際の費用弁償と、あと打ち合わせの際の旅費も含め、54万3,000円、あとは会議の際のお茶代というふうなことで、食糧費3万2,000円ほど計上して、全体で112万5,000円というふうになっております。

研修につきましては、やはりこれからの学校施設を整備してく上で、検討委員会の中でも近年整備された学校施設がどういう施設かというふうのを、やっぱり見る、見ていく必要があるというふうに考えております。そのため、近隣の市町村で近年整備された学校施設というふうなことで、そういった施設の視察なども計画していきたいというふうには考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

大いに視察していただきたいと思います。私たち議員も視察に一緒に行けないかなと思っているんですけど、いかがですか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

こども教育課長。

◎こども教育課長（坂 木 良 一 君）

その点についても、今後検討しながら対処したいというふうに思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

議員の参加については、全協などでまた私たちも議

論になると思いますので、参考にさせていただきたい
と思います。

次の質問にいきいたいと思います。21ページ、ナンバ
ー67、ふるさと偉人マンガ製作活用事業ということで、
先ほどの菅野修一議員の質問にもあったので、少し観
点を変えていきいたいと思います。先ほどはどんなふう
にして作っていくのかというふうな説明でしたけれど
も、これの参考になるのが、私は寒河江市の例ではな
いかなと思っています。新聞報道にもありましたが、
大江公物語というのを、アニメタッチでタブレットで
端末で見れると。総ページ数は42ページで、学校でダ
ウンロードして子どもたちが見れるんだというふうな
ことです。今のNHKの大河ドラマに合わせて改訂版
を作ったと。すばらしいリニューアルになっているん
ですけれども、尾花沢ではどんなふうに活用していく
計画か教えていただきたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

活用について、計画に沿って2点申し上げたいと思
います。

1つは学校での授業での活用についてになります。
小学校における社会科や総合的な学習等での活用をま
ず基本として考えております。徳良湖築堤の過程につ
いての学習、それをもとにしながら現地を訪問したり、
新たに生じた疑問について調べ学習を行ったりという
ふうなきっかけ作りにできればというふうに考えてお
ります。築堤100年を迎える徳良湖に関する学習を通
して、ふるさとについての理解を深めたり、ふるさと
を愛する心の育成につなげていければなというふうに
考えているところです。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

尾花沢の場合は冊子を作る予定ですか、それとも寒
河江市のようなPDFデータを利用してという考えで
しょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

はい、現時点では一応100ページ以上というふうな
まず規定がございますので、紙面の100ページにつ
いて作成していきいたいと思っています。あと内容に応
じてDVD等で活用できるものになれば、そちらのほう
も併せて考えていきいたいと考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

DVDの構想もあるというので大変すばらしいなと
思います。尾花沢の場合は築堤100年ということも併
せていい企画だなと思っております。第1回目が高宮
常太郎さんということですが、第2回目という構
想はあるでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

教育指導室長。

◎教育指導室長（高 橋 和 哉 君）

ありがとうございます。なにせ初めての企画でござ
いますので、どの程度の労力、それから皆様からお力
添えをいただいてできるものになるかまだ分かりませ
んですし、またこれ毎回予算必ずいただけるものとも
限りませんので、今回1年間とにかくやってみて、そ
の反省を踏まえて次については考えていきいたいとい
うふうに考えています。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴 木 清 委員

私の考えでは第2回以降は、鈴木清風さんをぜひお
願いしたいと考えております。検討していただきた
いと思います。

次の質問になります。最後の質問ですけれども23ペ
ージ、ナンバー80、図書館リニューアル事業です。予
算が9万9,000円ですけれども、内容がセルフレジ、
カードの電子化というふうにありますけれども、どの
ようなものかご説明をお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴 木 敏 君）

はいお答えいたします。まずはセルフレジ、カード
の電子化とはどのようなものかということでございま
すけれども、まずセルフレジでございます。非接触型
で人の手を介さずに自分自身で貸し出し処理ができる
ように、利用者自らがバーコードリーダーを操作して
貸し出しの作業をするというものが1点でございます。
あとカードですけれども、今現在紙のカードが図書カ
ードとなっておりますけれども、それも使えるんです
けれども、さらにスマホでもその利用カードのバー
コードが表示になって、スマホでもできるような形で考
えているところでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴木 清 委員

カードの電子化っていうのは他の東根市とかでや
ってるカードですか。それとは違うものですかね。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴木 敏 君）

東根市さんのものはちょっとどういったものなの
か分からないんですけども、今回、現在の図書シ
ステムをアップデートすることでスマホ対応にでき
ることがまず1点。あとレジにつきましては9万
9,000円ということで10万円弱なんですけれど
も、こちらの金額でセルフレジの備品のほうも購
入できるといことで、なるべくお金をかけないで
アップデートできるといことでの事業となってい
ます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴木 清 委員

ありがとうございます。その他にリニューアルとい
うことで、私最近見ているのが読書通帳であります。
尾花沢の図書館でも以前小関議員が質問した中で、
おくすり手帳型のシールを貼って、どういう本読ん
だかというおくすり手帳型と、あと大石田町と村山
市の図書館では銀行の通帳型の記帳するという形
のができていて、これもリニューアルになっている
なと子どもたちが楽しんで読んだ本を忘れないで、
これを読んだというのが記録されるなというの
があると思います。子どもたちに読んでもらいた
いっていう戦略だと思って見ておりますが、子
どもたちは読書通帳どのように使
っておられますか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴木 敏 君）

読書通帳ということで手元にあるんですけど、こ
ちらこれまで自分が借りた本の履歴が、おくすり
手帳のように貼ることで分かるということでは
ございまして、子どもたちも自分がどういった
本を読んできたかということ振り返ることも
できるのかなって思っております。大石田町
とか新しい図書館などは、本当に銀行の口座
の通帳といいますか、ああいった手帳もある
ようですけれども、尾花沢はこういったおく
すり手帳のようなもので今対応しているとい
うところでございまして。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木清委員。

◎鈴木 清 委員

大変すばらしいものができたなと思って、私も早
く作りたいと思っております。それで、新聞記事によ
ると、やはり読書は心の財産になるんだと、それか
ら子どもたちが最近読書離れしているの、その防
止にもなるのではないかと。情操教育の場とし
ても図書館はますます必要な場所であるとい
うふうなことで、リニューアルをこれからも
続けていっていただきたいなと思
っております。なぜかと言いますと貸出冊数
が昨年度ガクンと落ちてまして2万4,000冊
少なくなりました。コロナ禍であるので当然
そういうふうになるだろうとい
うのは予想しておりましたけれども、尾花沢
の図書館の場合、毎年5,000冊ずつ貸出冊
数が減ってきたので、2万4,000冊減った
のは5年分一気に減ってしまったなとい
うふうには私はちょっと思っているん
ですけども、このリニューアルをきっか
けに挽回していただきたいなと思
って、応援しますのでリニューアルを
さらに続けていただきたいと思
います。時間残っていますけれども以上
で私の質問を終わりたいと思
います。ありがとうございました。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

以上で、鈴木清委員の質疑を打ち切ります。

次に、鈴木裕雅委員の質疑を許します。鈴木裕雅
委員。

◎鈴木 裕 雅 委員

はい、本日最後の質疑者になります。よろしく
お願いします。私のほうからは予算の説明資料に
基づきまして、こちらのほうから全て質疑させて
いただきます。

まずは初めに説明資料22ページ、10款4項1
目になります。ナンバー75番延沢銀山遺跡整備
事業についてお伺いします。事業費は2,684万
3,000円でありますけれども、こちら改修が
今まさに進んでいるところでありますけれども、
この改修整備後の活用方法とはどう
いったことを考えているか、お伺いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴木 敏 君）

延沢銀山遺跡整備事業でございますけれども、
今現在整備のほうを進めておりまして、令和4
年度に完了するということで整備のほうしてい
るところでございます。完了後の活用方法で
ございまして、市といたしましては、山神神社
本体の管理につきましては銀山地区のほうで
行っていただくということにしております。文
化財としての価値を広く知っていただきたい
ということで、銀山の観光スポットの一つとし
まし

て観光パンフレットなどにも載せて、広くPRのほうに努めていきたいというふうに考えているところでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴木 裕 雅 委員

はい、仰るとおりだと思います。この観光スポットという言葉を出していただきましたけれども、延沢城を含めてこの延沢銀山遺跡、尾花沢市にとりまして歴史的にも非常に重要な場所であります。これらはやはり線をつないで観光として誘客に結びつける、こういった考え方は非常に重要だと思います。また管理につきましては、宗教法に関係してきますので、行政で管理することがなかなか難しいものになります。なかなかこう言及するのもどういった言い方がいいのか言葉を選ばなければならない部分でありますので、管理のほうは地元の方にお任せする、それで間違いないかと思っておりますので、ぜひこの観光スポットのパンフレットの作成であったり、どういった方をターゲットにしているか、もしありましたらお願いしたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

社会教育課長。

◎社会教育課長（鈴木 敏 君）

どういった方といいますと銀山温泉を訪れる観光客を対象にということで、今現在ですとコロナ禍の影響もありまして、海外の方はかなり減少しておりますけれども、国内外問わず商工観光課あたりと連携しながら、広くPRしていきたいというふうに考えています。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴木 裕 雅 委員

はい、徳良湖なんかもそうなんですけれども、銀山温泉に来たお客さんをターゲットにするというのも一つの考え方ではありますけれども、徳良湖に来たお客さん、銀山遺跡に来たお客さん、延沢城に来たお客さんを銀山温泉のほうに送り出す、こういった考え方もぜひ今後も持っていただきたいなと思います。

次に移ります。28ページになります。2款1項11目、ナンバー103番になります。空き家利活用支援事業89万5,000円でありますけれども、この中に新規のものとしてバーチャル内覧というものがありますけれども、バーチャル内覧こういったイメージかご説明をお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

お答えします。外観を含め、各部屋の内部の様子を、360度パノラマであたかもそこにいるかのような写真を、ホームページであったりスマホの画面を通して見たい方向に移動して見れるといったものでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴木 裕 雅 委員

大手の不動産サイトなんかでよく見られるバーチャル内覧かと思います。イメージもこれで合っているとは思いますが、尾花沢市は雪が非常に多い地域であります。尾花沢市のことをよくは分からないけれども興味がある、そういった方がこのバーチャル内覧を見た時に、おそらく雪のことは気にしない、冬のことは気にしないと思います。しかし、我々尾花沢市に住む人が家を探すといった場合に、気にするのはやはり雪の処理をどういうふうにこの家は行えばいいのか、処理する設備、流雪溝のようなものはあるのか、隣の家の屋根から雪は果たして落ちてくるのか、滑り止めがあるのか、自分の家にもそういった施設があるのかなのかというのは非常に気になることであります。閲覧する側の方が興味がなくてもですね、そこに住んでから「こんなつもりじゃなかったんだけどな」と言われぬように、こちらのほうからこういうことが必要なのですといった情報を、そのバーチャル内覧には載せる必要があるのではないかと思います。そのために外観も含めということですが、屋根から落ちた雪を貯めておくような庭があるのかとか、流雪溝はどのような状態で付いているかといったような、あとは隣家との間隔はどれぐらい空いているかといった部分も含めた外観としていただきたいんですが、いかがでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

定住応援課長。

◎定住応援課長（有 路 玲 子 君）

ご提案いただきましてありがとうございます。これまで空き家を購入、あるいは賃貸を望む方、市外の方につきましては、仰るとおり雪に対する質問であったりとかはそれほど多くない状況でございました。逆に言いますと移住された方につきましてはあまり雪を苦にされていないのかなといったこともあります。ただし仰るとおりこんなはずではなかったというような場合もあるかと思われますので、今後検討してまいりたいと思います。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

検討して下さるということですので、ぜひよろしくをお願いしたいと思います。

次に移ります。32ページです。8款5項2目、ナンバー131番。何人かの委員のほうから質疑されておりますけれども、また一般質問の中にも取り上げられた部分がございます、まちなか空き家再生事業、新規のものであります。前出の議員のほうからは、何件行うのかということで1件あたり大体解体で200万円を予定している。またどれぐらいその申し込みが来るかもまだ未知数な部分があるということを答弁いただいております。また立地適正化計画に基づきまして居住誘導区域内がエリアとして考えている部分であるというふうに答弁いただいておりますけれども、このエリアの中にですね、その三角地や台形の土地などの利用するには多少不便な土地というものも存在するかと思います。こういった利用に不便な土地に立っている建物や土地なんかも寄附を受けるのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

お答えいたします。今三角地など条件不利な場所の取り扱いについてであります。こちらの事業につきましては最終的には、安価な宅地として分譲して購入していただくまでの事業というふうに考えております。やはり寄附を受ける前に、事前調査という形で実施しながら周辺の環境を十分に精査する必要があるのかなと考えております。やはり販売が困難であると想定される物件については、寄附のほうは慎重に判断していく必要があるのかなと考えております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

寄附を受けても整地をしても住宅公社さんのほうで預かってくださっても、売れるかどうか見込みのない土地というのは、市にとっても住宅公社さんにとっても負動産になってしまうかと思います。それをやはり避けるためには致し方のない考え方だと思います。また、解体ということを行うのが市のほうでも負担金を出しながら解体を行う理由でありますけれども、尾花沢市内のこのエリアには木造家屋だけではなくて鉄骨や鉄筋の建物というものがあります。鉄骨や鉄筋の建物を解体する場合というのは非常に費用がかさむ場合

が多いようです。立地にもよるようすけれども。こういった解体費用がかさむような鉄骨鉄筋の建物も寄附として受け入れるのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

お答えいたします。鉄筋あるいは鉄骨の建物の寄附というようなことであります。先ほども申し上げたとおり、この事業の目的というのは、安価な宅地の分譲の販売ということになります。やはり鉄骨ですとか鉄筋の建物については解体費がかさみます。分譲する場合の価格の設定の関係についても、さまざまその解体費がかさむことによってさまざまな課題があるかと思っておりますので、そちらの部分についてもやはり事業の実施については慎重に判断していく必要があるのかなと考えております。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

もう1点ございます。この所有者の方ですけれども、所有者の方が税金を滞納されている方でありましたり、当該する土地や建物の税金が未納の場合というのはどのように対処されるのでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

お答えいたします。現在の補助事業につきましても建設課のほうで不良住宅の除去の補助もあります。多くの事業について市税については完納を要件をしておりますので、今回の事業についても従来の補助と同じような考えで市税等の完納の要件ということで考えております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

分かりました。現段階では来年度1件の見込みではあります、場所はまだ決まっていないとは思いますが、ですけれども10年後を考えた時にこの事業があることによって、尾花沢市のまちなかを再生する一番の手立てがこの事業になるのではないのかなと今思います。もちろんクリアしなければならない部分、不便な土地であったり、解体に費用がかかる場合であったり、税金が未納の場合であったりですね、クリアしなければならないものもまだまだありますけれども、こういったものを一つずつ相続されている方と共に考え

ながらクリアしていくことによって、本町地区を中心とする街というものが再生されていくのではないのかなと思います。

すみません、もう1点ありまして、空き地になっている場合、解体がもうすでに済んで空き地としてある場合というのは、この場合土地だけの寄附として受け入れるのでしょうか。すみません、もう1点お願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
建設課長。

◎建設課長（齊 藤 孝 行 君）

空き地の部分というようなことであります。こちらの事業はあくまでも建物と土地一体となった事業でありますので、土地と建物を含めた形で寄附を受けて、市のほうで解体して販売していく事業になります。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

はい、現在の考え方では土地のみの場合、空き地の場合は、この事業には該当しないということですが、将来的にはこういった空き地の場合も寄附を受けて、隣接するところに三角地などがある場合は一緒に区画整理を行って、新たな街づくり、三角地などの価値の低い土地に新たな価値を付け加えて安価な住宅地として供給できるような、そういった事業にこれから事業内容が成長していただければなと思います。今後楽しみな事業ですのでどうぞよろしくお願いしたいと思います。

では次に移ります。33ページになります。4款1項3目、ナンバー135番、環境セミナー等開催事業であります。新規のものでありますけれども、このセミナーの内容と事業名のほうに「等」という言葉がありますけれども、この「等」の表すところをお願いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
環境エネルギー課長。

◎環境エネルギー課長（本 間 孝 一 君）

環境セミナー等開催事業であります。この事業に関しましては、説明資料にも記載されているとおり、山形県の市町村向けゼロカーボン開催支援事業を活用させていただく予定のため、費用は発生しないものとなっております。ゼロカーボンに向けた市民意識の醸成を目的とするものでございます。「環境セミナー等」ということで記載させていただきましたのは、環

境に関するセミナーであることは間違いないんですけれども、今回ゼロカーボンをテーマにということで考えております。ただもう1つぐらいテーマのほうを絞りまして、例えば地球温暖化の仕組みですとか、SDGs 関係などについても2つぐらいテーマを想定しておりますので、「等」ということで付けさせていただいたところでございます。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

はい、県の事業を活用してということで、当市の事業としては事業費は計上されていないわけですが、ぜひこういったものをですね、活用していただくのは非常に良いことかなと思います。また「等」の部分、可能性を持っているので、「等」という言葉を使っているということですが、温暖化であったりSDGs であったり、県の事業ですが、県の事業内容のほうにこういったものが組み込まれているのであれば、ぜひ活用を検討していただきたいと思います。よろしくお願いします。

次に移ります。45ページになります。事業費はありません。国の政策になりますけれども、地域社会のデジタル化の推進になります。地域デジタル社会の推進費でありますけれども、この中に地域デジタル社会形成に向け想定される取り組み例として1番目に、デジタル社会の恩恵を高齢者など多くの住民が実感できるためのデジタル活用支援、高齢者の恩恵という言葉がございます。考えられる高齢者の恩恵とは何を指すのかご説明をお願いします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
福祉課長。

◎福祉課長（吉 野 真 広 君）

お答えいたします。高齢者に対する恩恵とは何かとのご質問でございますけれども、国で進めるデジタル社会においてタブレット端末などデジタル機器を活用し、高齢者の方向けのサービスを提供し福祉の向上を図ることだと考えております。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）
鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

考え得る高齢者に対する恩恵であるだろうなというふうに私も感じます。しかしながら、高齢者の方が、いわゆるそのタブレットを手を持ったことのないような高齢の方がこの恩恵を受けるにはなかなか時間がかかるのかなと。また慣れていただくのにも時間がかか

りますし、慣れようという気持ちになっていただくにも時間がかかる。尾花沢市が推し進めるものではなく、国のほうで推進を決めたものに従って、これから尾花沢市が向かわなければならない部分ではありますけれども、なかなか国の考える部分と地域の中での高齢化が進む当市におきましては、温度差がちょっとあるのかなと。ですので時間をかけながらこういったものは進めていくべきだと思いますけれども、時間をかけてじっくりと進めていただけますでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

総合政策課長。

◎総合政策課長（永 沢 晃 君）

高齢者の見守りという形で小関英子議員のご質問にもお答えさせていただきました。タブレット端末を与えると見守りに該当するのかなという、私もそうではないと思っていました。じゃあ何かという時に、社会資源を活用した例えばスマートスピーカーなどが、今一般的にも若者を中心として普及している可能性があります。そういうふうな、人にやさしいデジタルを取り組むということで、本来は究極の話になるかもしれませんが、遠くに住んでいる例えば息子さんや娘さんが、そういう社会資源を活用してそのお父さんお母さんの家に設置すると。例えば夜7時頃には毎日そこで声がけをしていただくとか。本来はそういうふうな中身が見守りに対する考えなのかなと。その延長線上にこの高齢者の方のデジタル化という部分もあるのかなというふうに思っております。ですので、もしそういうふうな部分が今後社会の流れとして、いろんな物事が発生するかと思いますので、これ国の流れもちろん注視するんですけれども、市独自でオリジナルでやっていこうという部分については、なるべく避けるべきなのかいというふうに、その部分が今仰ったゆっくりという部分にもあたるのかなというふうに思っています。

もしタブレットを与えて、またシステムをアップグレードする際には、市独自で取り組まなければならない。もしかするといつかいらないか分からないんですけど、高齢者の方にタブレットを与えてしまったというふうな形で、なんかこう見守りとはまた別な流れができてしまうような気がしますので、ちょっと私もそこは違和感を感じておりましたので、昨日等の答弁でも話させていただきました。ですから人と人をつなぐという部分が大切だと思うんですけれども、それは地域の中で孤立しないっていう部分もあるんですけれども、やっぱりそういう身内の方と連絡が簡単に

取れるようなものとして、もし息子さんが与えてくれるのであれば、そこに支援をするという可能性も十分あるのかなというふうに思っています。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴木 裕 雅 委員

家族のことを言うのは何なんですけども、私の父親も携帯電話を近日変えまして、スマートフォンと言われる画面型のものになりました。しかし1か月足らずですので電話に出ることがやっとなという状態です。何回ももちろん教えるんですけども、「これどうするんだっけ」と聞いてくれるうちはまだいいんですが、そのうち手からだんだんと携帯電話が離れてしまって置き去りになっているというのを何回か目にしています。やはりこれは慣れていただくしかないものでありまして、私の立場、息子から教えてあげるといいう方は良くないんですけども、教えますと教えた時はやはりできる。できるということは使いこなせるということでもありますので、根気よく何回も家族の方が一緒になって使い方を学ぶということが大切なのかなと思います。ぜひ推進に至りましては、慎重にしかし確実に計画を作っていただきたいなと思います。

次に移ります。49ページになります。公立病院経営下の経営強化の推進についてであります。これも尾花沢市が単独で予算として行っているものではありませんけれども、質疑しようかちょっと迷ったんですけども、尾花沢市の予算案の説明資料に載っておりますので質疑させていただきます。中間とりまとめのほうを令和3年12月10日に議会のほうに公表していただいております。こういったことを踏まえながら地域医療構想を踏まえた公立病院経営強化プランの策定についての詳細な説明をお願いいたします。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

健康増進課長。

◎健康増進課長（永 沢 八重子 君）

はい、公立病院経営強化プランの策定についてお答えいたします。説明資料の49ページの1をご覧くださいのですが、総務省では持続可能な地域医療提供体制を確保するため、地域医療を支える公立病院の経営強化に向けた公立病院経営強化ガイドラインを今年度末までに策定することになっております。そのガイドラインを踏まえて、令和4年度または令和5年度中に策定することになるのが公立病院経営強化プランでございます。このプランの策定対象は公立病院となっております。そのプランに基づきまして、公立病院

が経営強化に取り組めるよう地方財政措置が拡充延長されることになりまして、その財政措置の内容が同じく49ページの2に記載されているものでございます。その中に（2）になりますが、医師派遣等に係る特別交付税措置の拡充がありまして、新たに診療所への派遣が追加されておりまして、基幹病院から不採算地区病院等への医師派遣などによる連携を強化することによりまして、医師派遣に必要な経費に対して特別交付税が措置されるもので、その派遣対象が病院だけでなく診療所にも拡大されることになるものでございます。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

鈴木裕雅委員。

◎鈴 木 裕 雅 委員

はい、公立病院のほうが中心になって、自分事ですので経営強化プランを策定するにあたり、その中に尾花沢市に関係する部分はもちろん負担金をお支払いしているわけですが、それ以外に地域病院であります診療所の部分に関わってきているということであります。プランのポイントとしては医師や看護師との派遣を考えてくださるということですが、なかなかこの不採算地区にある病院というものがこれだけで解消されるわけではありませんけれども、今後地域医療を考えた時にこういったことが1つひとつ大切になってくるだろうなと思います。また公立病院との連携というのも非常に大切な部分でありますので、この話の中には我々なかなか入り込めない部分ありますけれども、今後を考えながらぜひ強化推進策を一緒に考えていきたいなと思います。

最後になります。ページも最後です58ページになります。財政状況の指数についてでありますけれども、この中で実質公債費比率1番目に書いてあるものと、4番目に書いてある財政力指数、この数字の変化について財政課長どのようにお考えでしょうか。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

財政課長。

◎財政課長（本 間 純 君）

はい、実質公債費比率と財政力指数についての考え方ということでございます。実質公債費比率につきましては、公債費によります財政負担の程度を示すものでございまして、公債費また公債費に準ずる償還金等これの標準財政規模に対する比率というふうな形で数値が出てくるわけですが、これが下のほうに書いてございますけれども18%以上になりますと起債を起こすに国県の許可が必要になってくるといふふうなことで、以前大変苦しい思いをした時がござ

いました。令和2年度の決算から比べますと数値のほうは上がってきてございますけれども、まだまだ18%に到達するような今の現状ではございませんけれども、先の全協でもご説明申し上げておりますけれども、新庁舎の建設に関わります公債費、これの元金償還が令和4年度から始まってくるというふうなことで、若干こちらの数値につきましては上昇してくるのかなというふうなことではございますけれども、起債を起こすにしても、十分今後のことを考えながら事業を展開してまいりたいと思います。また財政力指数については、市の財政基盤の強さを表すものでございまして、交付税算定の基礎数値、こちらのほうから算定されるわけでございますけれども、しっかりこちらのほうも市の財政を健全に堅持していくためにも、しっかり財政運営を行ってまいりたいと思います。以上です。

◎予算特別委員長（小 関 英 子 委員）

以上で、鈴木裕雅委員の質疑を打ち切ります。

本日の委員会はこの程度にとどめ、明日10日午前10時より、引き続き総括質疑を行います。

本日はこれにて散会いたします。大変ご苦勞様でございました。

散 会 午後3時08分